

令和4年8月 市長定例記者会見次第

日時：令和4年8月25日（木）

午後1時30分

場所：市役所 共用会議室306

1 開 会

2 会 見

- (1) 令和4年度 一般会計補正予算（第3号）について
- (2) 令和3年度決算状況及び健全化判断比率について
- (3) 安曇野市平和都市宣言10周年記念事業について
- (4) 安曇野市あずさマルシェの開催について
- (5) オール安曇野産フルコース「和食」について
- (6) 「あづみのDays in 銀座NAGANO」の開催について
 - 開催概要について
 - 【銀座NAGANOで安曇野の“美味しさ”を体験！】移住して農業を始めた2人に根掘り葉掘り聞けちゃうDAY！の開催について
- (7) カフェレストラン「上高地あずさ珈琲」と連携した関西方面での観光キャンペーンの実施について
- (8) Bリーグ2022-2023シーズン
信州ブレイブウォリアーズ プレシーズンゲームについて
- (9) サッカー松本山雅F.C（フットボールクラブ）ホームタウンPRデーについて
- (10) デジタルサイネージ「わが街ナビ」のイオン豊科店設置について

3 質 疑

4 閉 会

令和4年度

一般会計補正予算（第3号）の概要

令和4年9月議会提出

総務部財政課

令和4年度一般会計補正予算（第3号）の概要等

1 令和4年度一般会計補正予算（第3号）の編成方針等

○ 基本事項

現時点までの予算執行状況を的確に分析し、令和4年度後期の必要経費を積算した上で、予算に過不足が生じることが予測される場合であって、原則として次の事項に該当するものを補正する。

- ①本年度の予算執行段階において、見直し等を決定した予算及び入札等により事業費が確定したことによる補正
- ②事業実施に関する諸条件が整ったことによる事業化の見通しがたったもので、緊急を要するなど、年度途中で事業実施に踏み込む正当な事由がある事業等の補正
- ③市民の安全確保や利便性確保のため、緊急を要する事業等であって、既決予算を超える部分の補正
- ④新型コロナウイルス感染拡大対策により、速やかに実施が必要となる補正

2 補正予算見積状況

補正予算額	13億6,200万円
補正前の予算額	432億7,900万円
補正後の予算額	446億4,100万円

(単位 千円)

補正額	補正予算額の財源内訳			
	特定財源			一般財源
	国県支出金	地方債	その他	
1,362,000	246,869	△826,200	565,382	1,375,949

3 歳入の主な増額・減額項目

番号	予算書 ページ	歳入科目	増(減)額	充当先事業	主な内容
地方交付税					
1	12	普通交付税	9億3,132万2千円	一般財源	交付額の決定による増
分担金及び負担金					
2	12	耕地災害復旧事業負担金	4,174万6千円	耕地災害復旧事業	重光堰災害復旧事業に伴う、中部電力(株)負担金
国庫支出金					
3	12	新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金	1,295万8千円	ワクチン予防接種事業	新型コロナウイルスワクチン追加接種(4回目)に伴う国庫負担金
4	12	個人番号カード利用環境整備費補助金	140万8千円	電算管理費	マイナポイント予約申込支援実施に伴う国庫補助金
5	12	感染症予防事業費等国庫負担(補助)金	79万7千円	予防接種事業	風しん抗体検査実施に伴う国庫補助金
6	12	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業補助金	42万円	ワクチン予防接種事業	新型コロナウイルスワクチン追加接種(4回目)に伴う国庫補助金
7	12	道路改良費補助金	1,121万1千円	社会資本整備総合交付金事業	交付金事業の増加に伴う国庫補助金
8	12	学校等における感染症対策等支援事業補助金	1,147万5千円	小学校総務管理費外	学校の感染症予防対策等に対する国庫補助金
県支出金					
9	14	農業次世代投資資金(経営開始型)	525万円	後継者対策事業	新規就農者育成対策事業に対する県補助金
10	14	耕地災害復旧事業費補助金	1億8,633万8千円	耕地災害復旧事業	重光堰等災害復旧事業に伴う県補助金

番号	予算書 ページ	歳入科目	増(減)額	充当先事業	主な内容
11	14	長野県新型コロナウイルス感染症外来・検査センター事業実施業務委託金	947万1千円	保健衛生総務費	新型コロナウイルス感染症外来検査センターの実施期間延長に伴う県委託金
12	14	不登校児童生徒継続支援事業委託金	80万4千円	教育支援センター運営事業	「令和4年度不登校児童生徒に対する学びの継続支援事業」に指定されたことに伴う県委託金
寄附金					
13	14	指定寄附金	5,027万円	社会福祉総務費 外	指定寄附による
14	14	ふるさと寄附金	2億円	寄附採納事務	ふるさと納税の寄附増額見込みによる増
繰入金					
15	16	財政調整基金繰入金	△3,605万9千円	一般財源	財源調整による
16	16	減債基金繰入金	2億7,000万円	長期借入金償還元金	償還に充てるための繰入金
繰越金					
17	16	繰越金	9億803万6千円	一般財源	前年度繰越金
諸収入					
18	16	経営継承発展等支援事業補助金	100万円	後継者対策事業	経営継承発展等支援事業実施に伴う全国農業会議所からの補助金
市債					
19	16	臨時財政対策債	△4億2,900万円	一般財源	発行可能額の決定による減
20	16	借換債（総務債・旧合併特例事業債）	△9億1,570万円	長期借入金償還元金	借換債の発行取りやめによる減

番号	予算書 ページ	歳入科目	増(減)額	充当先事業	主な内容
21	16	旧合併特例事業債 (民生債)	△4,710 万円	老人福祉施設 管理事業	三郷福祉センター改修 工事における、起債対象 面積の変更に伴う減 (△52,500 千円)
22				公立認定こども園 整備費	三郷東部保育園建設に 伴う用地取得による増 (5,400 千円)
23	16	公共事業等債 (農林債)	△140 万円	県営土地改良 事業	県営かんがい排水事業 負担金の起債対象事業 費の精査による減
24	16	公共事業等債 (土木債)	9,250 万円	住宅管理費	公営住宅建設事業の財 源内訳(対象事業費・交 付金)見直しによる増
25	16	旧合併特例事業債 (土木債)	2,830 万円	社会資本整備 総合交付金事 業	市道新設改良事業(交付 金事業)の増加に伴う増
26	16	旧合併特例事業債 (衛生債)	1,720 万円	下水道事業	下水道企業会計におけ る下水道統廃合事業着 手に伴う一般会計出資 債

4 歳出の主な増額・減額項目

番号	予算書 ページ	事業名	増(減)額	主な内容
総務費				
1	20	寄附採納事務	2億8,259万4千円	上半期の状況を鑑み、年度中の寄附採納の見込みに伴う増 (返礼品・事務費・基金積立金)
2	20	本庁舎管理費	66万6千円	本庁舎等、公共施設の男性用個室トイレにサンタリーボックスを設置
3	22	基金積立金	4億8,000万円	繰越金確定に伴う財政調整基金への積立
4	22	公共交通事業	1,523万9千円	デマンド交通あづみんの運行単価の見直しに伴う増
5	24	水資源対策費	147万1千円	<ul style="list-style-type: none"> ・10月に松本市で開催される日本地下水学会において市の水資源対策をPRするための経費(市の水資源について取り上げた冊子「AZUMO」の配布等) ・令和4年4月から開始した「水結制度」の周知と意識向上を図るためのロゴマーク作成 ・排水路を活用した涵養効果検証事業の実施
6	24	電算管理費	711万9千円	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナポイント予約申込にかかる支援の実施 ・新型コロナウイルス感染症対策を意識した機材の導入(リモート会議用ミーティングボード、PC) ・障がい者に配慮した窓口業務機材の導入(補助会話システム、窓口案内用タブレット)
7	24	地域・行政情報化推進事業	442万2千円	自治体DX推進における、業務見直し(BPR)を進めるため職員研修会を実施

番号	予算書 ページ	事業名	増(減)額	主な内容
民生費				
8	30	社会福祉総務費	2,840 万円	<ul style="list-style-type: none"> ・指定寄附受領に伴う、福祉基金への積立金 (45,000 千円) ・給与等△16,600 千円
9	32	老人福祉施設管理事業	109 万 9 千円	<ul style="list-style-type: none"> ・穂高地域福祉センター自動ドア駆動装置修繕 ・三郷福祉センター改修工事における、起債対象面積の変更に伴う財源振替
10	34	公立認定こども園整備費	570 万 2 千円	三郷東部保育園建設事業地取得に伴う不動産鑑定時点修正による用地取得費の増
11	34	認定こども園管理費	△2,829 万 3 千円	<ul style="list-style-type: none"> ・非常用設備更新等 (9,256 千円) ・給与等△41,800 千円
衛生費				
12	36	保健衛生総務費	4,929 万円	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症外来検査センターの実施期間延長 (令和 5 年 3 月まで) に伴う、医師等への労務謝礼の増額 ・安曇野赤十字病院に対する財政支援の実施 (49,870 千円) ・給与等△10,749 千円
13	38	ワクチン予防接種事業	1,337 万 8 千円	新型コロナワクチン追加接種 (4 回目) 対象者拡大に伴う増額
14	38	予防接種事業	6,403 万 6 千円	子宮頸がんワクチン未接種である平成 9 年～17 年生まれの方への積極的勧奨実施に伴う増
15	38	妊婦・乳児一般健康診査事業	200 万円	令和 4 年 10 月から追加実施される新生児スクリーニング検査に係る検査料の助成 【別紙 NO.1】

番号	予算書 ページ	事業名	増(減)額	主な内容
農林水産業費				
16	42	農業総務費	△470万3千円	<ul style="list-style-type: none"> ・「オール安曇野産」の農畜水産物を用いたフレンチメニュー（安曇野フルコース）の考案（2,697千円） ・給与等△7,400千円
17	44	安曇野の里運営事業	840万1千円	<ul style="list-style-type: none"> ・ビレッジ安曇野浴室サウナの老朽化に伴う室内壁面の改修 ・憩いの池モニュメントの老朽化による更新工事
18	44	後継者対策事業	732万円	新規就農者、経営継承者等に対する、家賃・農業用機械購入・研修費用の補助
19	44	畜産振興事業	1,657万3千円	配合飼料価格高騰の影響を受ける畜産農家の事業継続支援のため、飼料購入費の一部を補助 【別紙 NO.2】
商工費				
20	48	観光イベント事業	220万円	冬季の誘客を図るため、穂高神社で実施している「安曇野神竹灯」の開催期間を試験的に延長することに伴う補助金の増
土木費				
21	50	社会資本整備総合交付金事業	4,118万9千円	市道新設改良事業（交付金事業）の増加に伴う増
22	52	下水道事業	1,720万円	下水道統廃合事業着手に伴う下水道企業会計への出資金
23	52	住宅管理費	101万円	公営住宅の整備に伴う移転補償費の増

番号	予算書 ページ	事業名	増(減)額	主な内容
消防費				
24	54	災害対策費	614万7千円	災害対策本部設置訓練（職員対象研修会、訓練評価）の実施（247千円）
教育費				
25	58	小学校総務管理費	1,122万6千円	新型コロナウイルス感染症対策用品としての消耗品（消毒等）、備品（医療用簡易型テント等）の購入
26	58	小学校施設改修事業	△2,978万7千円	債務負担行為設定に伴う減
27	58	中学校総務管理費	701万6千円	新型コロナウイルス感染症対策用品としての消耗品（消毒等）、備品（空気清浄機等）の購入
災害復旧費				
28	66	耕地災害復旧事業	2億3,148万5千円	重光堰等災害復旧事業の実施
給与費関係				
29	70	職員人件費	3,219万6千円	【一般職】 報酬（7,316千円） 給料（△7,150千円） 職員手当（29,080千円） 共済費（2,950千円）

5 債務負担行為

次の事業については、複数年にわたる事業のため債務負担行為の設定を

追加

事業名	限度額	期間	設定を必要とする理由
市民意識調査支援業務	231万円	令和5年度まで	業務期間が複数年となるため
公用車更新事業	708万円	令和5年度まで	業務期間が複数年となるため
三郷小学校長寿命化改良 工事設計業務	3,200万円	令和5年度まで	業務期間が複数年となるため

【別紙】

歳出の主な増額・減額詳細

No.	事業名
1	<p>【妊婦・乳児一般健康診査事業】</p> <p>オプション新生児スクリーニング検査助成事業</p> <p>1 目的 自己負担が伴うオプション新生児スクリーニング検査の検査費用を助成し、保護者の経済的負担を軽減するとともに、疾患の早期発見、早期治療のため検査の推進を図る。</p> <p>2 助成内容 <ul style="list-style-type: none"> ・県内で出産し、検査項目「原発性免疫不全症」「脊髄性筋萎縮症」を受けた際の費用を助成 ・助成額：2検査で5,000円（自己負担の全額） ・県外で出産し、自費でオプション新生児スクリーニング検査を受けた際の費用を助成 ・助成額：自己負担の全額 </p> <p>3 助成対象者 令和4年10月～令和5年3月生まれ 390人</p>
2	<p>【畜産振興事業】</p> <p>配合飼料価格高騰緊急対策事業</p> <p>1 補助目的 国際的な穀物需要の増加やウクライナ情勢等に伴うトウモロコシ等の飼料原料価格の上昇等により、配合飼料価格高騰の影響を受ける畜産農家の事業継続を支援するため、飼料購入費の一部を補助する。</p> <p>2 補助内容 畜種毎に定めた補助額に飼育する家畜の頭数を乗じた額を補助する。 補助額：乳用牛3,700円/頭、肉用牛3,700円/頭、豚1,100円/頭、鶏30円/羽</p> <p>3 補助対象者 <ul style="list-style-type: none"> ・市内で畜産業を営む個人又は法人 ・国の配合飼料価格安定制度に加入する者 </p>

令和4年度安曇野市各会計補正予算額一覧

単位：千円

会 計 名	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額
安曇野市一般会計 補正予算（第3号）	43,279,000	1,362,000	44,641,000
安曇野市国民健康保険特別会計 補正予算（第1号）	9,665,136	45,098	9,710,234
安曇野市後期高齢者医療特別会計 補正予算（第1号）	1,327,507	28,490	1,355,997
安曇野市介護保険特別会計 補正予算（第1号）	10,178,346	237,380	10,415,726
安曇野市上川手山林財産区特別会計	1,770		1,770
安曇野市北の沢山林財産区特別会計	1,000		1,000
安曇野市有明山林財産区特別会計	1,030		1,030
安曇野市富士尾沢山林財産区特別会計	880		880
安曇野市穂高山林財産区特別会計	1,130		1,130
安曇野市産業団地造成事業特別会計	2,484		2,484
安曇野市有明荘特別会計	10,476		10,476
特別会計合計	21,189,759	310,968	21,500,727
総 計（一般会計+特別会計）	64,468,759	1,672,968	66,141,727

会 計 名 等	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額	
安曇野市水道事業会計 補正予算（第1号）	収益的収入	2,283,564		2,283,564
	収益的支出	1,940,161	82	1,940,243
	資本的収入	154,568		154,568
	資本的支出	1,380,016	117,212	1,497,228
安曇野市下水道事業会計 補正予算（第1号）	収益的収入	4,224,398		4,224,398
	収益的支出	3,643,303	2,288	3,645,591
	資本的収入	1,005,421	17,200	1,022,621
	資本的支出	2,745,943	8,166	2,754,109

令和 3 年 度

地方財政状況調査等による

決 算 概 要

安曇野市総務部財政課

1 地方財政状況調査（決算統計）

地方財政状況調査とは、地方自治法第252条の17の5に基づいて行われる調査で、地方財政法第30条の2の規定により、国会に報告されるとともに公表されます。

地方財政状況調査は、当該年度の決算に基づいて行われますが、地方公共団体には多様な会計が存在していることから、「普通会計」と「公営事業会計」の2つに分けて調査することとされています。

なお、地方公共団体間の画一性をとるため、統計的な要素を加味しながら調査するため、各会計毎の実決算額と地方財政状況調査における決算額には差異があるとともに、目的別、性質別経費の計上方法にも違いがあります。これは、全国統一の方法により、集計を行うことにより、全国的に地方公共団体間の比較分析を行うためです。

また、公営事業会計のうちの公営企業会計については、別に調査されています。安曇野市においては、水道事業、下水道事業、産業団地造成事業特別会計、有明荘特別会計が該当します。

ここでは、地方財政状況調査対象のうち、普通会計を中心にその概要を説明します。

2 地方財政状況調査対象会計の状況

(単位：千円)

	実決算額			地方財政状況調査の決算額				摘要 (実決算額と違いが生じる要素)
	歳入決算額	歳出決算額	収 支	会計	歳入決算額	歳出決算額	収 支	
一般会計	50,033,229	48,838,392	1,194,836	普通会計	50,024,467	48,829,631	1,194,836	後期高齢者医療広域連合で経理する職員人件費分(8,762)を控除
国民健康保険特別会計	9,707,897	9,659,234	48,663	同左	9,796,506	9,747,842	48,664	国民健康保険事業に対応する人件費(88,609)を追加
後期高齢者医療特別会計	1,313,945	1,285,354	28,590	同左	1,335,698	1,307,106	28,592	後期高齢者医療事業に対応する人件費(53,153)を追加 後期高齢者医療広域連合で経理する事務費分(31,401)を控除
介護保険特別会計	9,838,844	9,602,227	236,617	保険事業勘定	9,931,987	9,695,372	236,615	介護保険事業に対応する人件費(114,627)を追加
				介護サービス事業勘定	21,483	21,483	0	介護サービス分を分離
上川手山林財産区特別会計	2,572	1,082	1,490	財産区	6,096	2,075	4,021	
北の沢山林財産区特別会計	911	255	656					
有明山山林財産区特別会計	905	199	705					
富士尾沢山林財産区特別会計	934	231	703					
穂高山林財産区特別会計	772	303	469					

※実決算額は会計課作成の実質収支に関する調書より転記

※実決算額と地方財政状況調査の決算額において、それぞれ端数処理の方法が異なるため、実決算額から控除、追加した歳入及び歳出決算額の合計や収支が一致しない場合があります。

3 地方財政状況調査等による普通会計の決算状況

令和3年度普通会計歳入決算額は、前年度対比11.1%減の500億2,400万円、歳出決算額は前年度対比11.9%減の488億2,900万円で、形式収支は11億9,400万円となりました。翌年度に繰り越すべき財源2億3,600万円を除いた実質収支は、9億5,800万円の黒字となりました。

【歳入】

個人市民税については、給与所得者の減少により5,900万円の減額、固定資産税は、新型コロナウイルス感染症の影響に関わる軽減措置等の影響により2億2,400万円の減額、法人市民税については、申告納税額が増加したことにより1億1千万円の増額となりました。全体では1億2,100万円の減額となりました。

譲与税関係では、地方消費税交付金が1億9,300万円の増額となりました。

普通交付税については、算定項目の追加等による基準財政需要額の増や税収減による基準財政収入額の減などにより16億4,600万円の増額となり、地方交付税全体では16億8,600万円の増額となりました。

使用料及び手数料については、可燃ごみ処理手数料が2,100万円の減額となったことなどから全体では2,200万円の減額となりました。

国庫支出金については、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業補助金7億600万円、令和3年度子育て世帯等臨時特別支援事業補助金14億3,900万円の増額になったのに対し、特別定額給付金給付事業費補助金97億2,500万円、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金8億3,100万円が減額となったことなどから全体では、71億8,900万円の減額となりました。

県支出金については、地域支えあいプラスワン消費促進事業補助金1億9,200万円の減額となったことなどから全体では2,000万円の減額となりました。

市債については、新ごみ処理施設建設事業23億9,100万円の減額となったことなどから、全体では、9億4,800万円の減額となりました。

諸収入等については、ふるさと寄附金2億5,700円が減額となったことなどから全体では、9,600万円の減額となりました。

歳入決算額

(単位：千円)

	地 方 税	譲 与 税 等	地方交付税	分担・負担 使用・手数料	国県支出金 交安交付金	市 債	諸 収 入 等	合 計
令和3年度	11,818,044	3,459,060	12,624,736	604,738	10,980,299	3,997,496	6,540,094	50,024,467
令和2年度	11,939,348	3,004,070	10,938,127	627,635	18,190,369	4,946,022	6,636,932	56,282,503
比 較	△ 121,304	454,990	1,686,609	△ 22,897	△ 7,210,070	△ 948,526	△ 96,838	△ 6,258,036

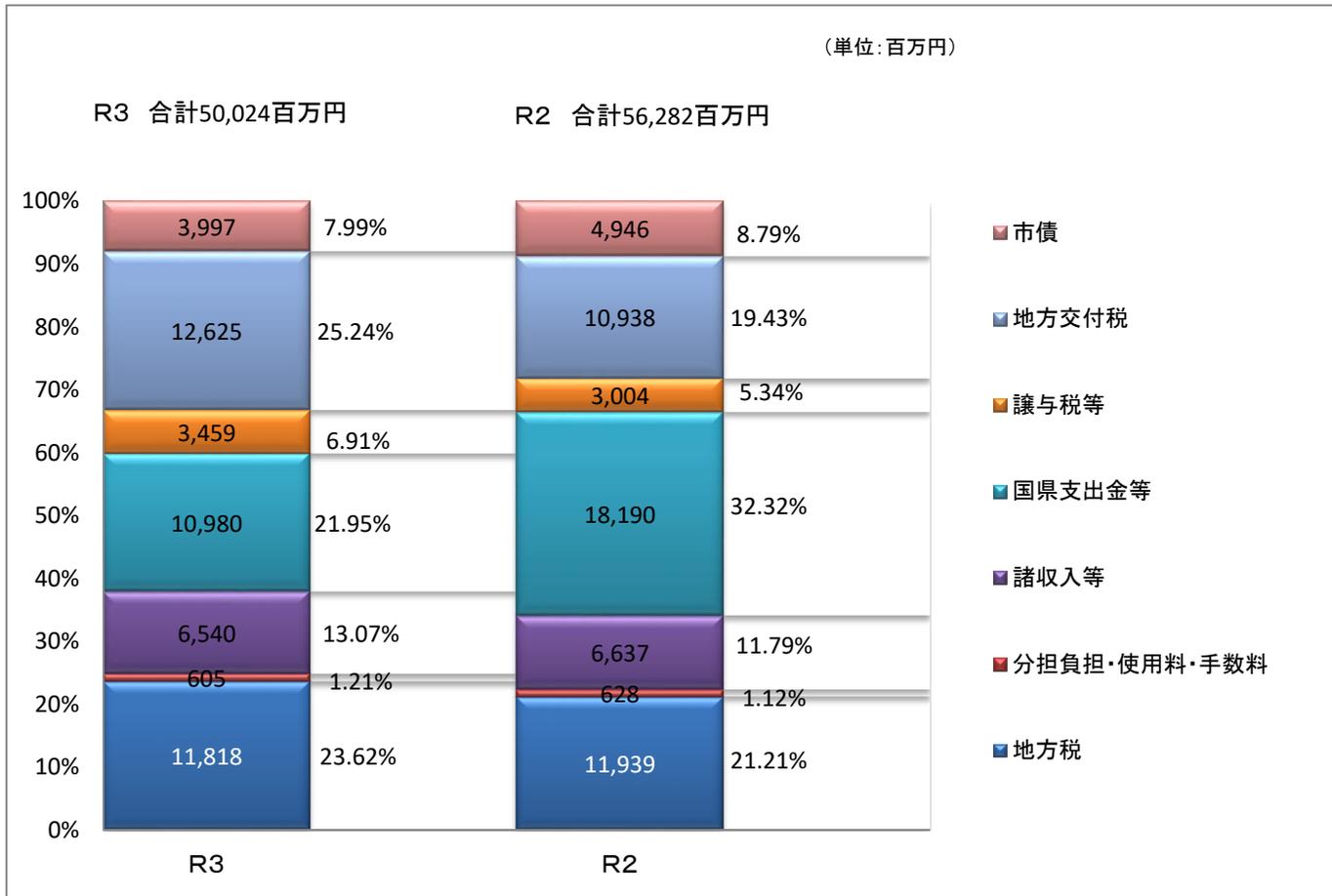
歳入款名	増 減	主 な 増 減 内 容 (増 減 額)
地 方 税	△ 121,304	個人市民税 (△5,900万円)、固定資産税 (△2億2,400万円)、法人市民税(1億1,000万円)
譲 与 税 等	454,990	地方消費税交付金 (1億9,300万円)、配当割交付金 (△1,900万円)、株式等譲渡所得割交付金 (1,700万円)、法人事業税交付金 (8,600万円)、地方特例交付金 (1億2,500万円)
地方交付税	1,686,609	【普通交付税】 基準財政収入額：主な費目 市町村民税の減額 (△7億7,700万円) 固定資産税の減額 (△1億6,000万円) 基準財政需要額：主な費目 包括算定経費の減額 (△7億1,000万円) ※合併算定替の終了のため 臨時経済対策費の増額 (1億5,000万円) 臨財債償還基金費の増額 (4億6,000万円) 【特別交付税】 (4,100万円)
国県支出金	△ 7,210,070	国庫支出金：特別定額給付金給付事業費補助金 (△97億2,500万円)、令和3年度子育て世帯等臨時特別支援事業補助金 (14億3,900万円) 県支出金：地域支えあいプラスワン消費促進事業補助金 (△1億9,200万円)
市 債	△ 948,526	新ごみ処理施設建設事業 (△23億9,100万円)

※譲与税等は地方譲与税、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、利子割交付金等を合算した額です。

※国県支出金は国及び県支出金、交通安全対策特別交付金(交安交付金)を合算した額です。

※諸収入等は財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入を合算した額です。

歳入決算の構成状況



※百万円未満四捨五入により合計額は一致しない場合があります。
 ※構成比については、四捨五入により100%とならない場合があります。

【歳出】

総務費については、財政4基金積立金31億5,400万円の増などに対し、特別定額給付金給付事業97億6,200万円、寄附採納事務3億5,400万円の減などにより、71億3,700万円の減額になりました。

民生費については、子育て世帯への臨時特別給付金事業1億2,200万円の減などに対し、令和3年度子育て世帯等臨時特別支援事業11億5,200万円、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業の7億3,400万円、穂高北部児童館整備事業3億2,100万円の増などにより25億2,400万円の増額になりました。

衛生費については、新型コロナウイルスワクチン接種対策事業4億9,100万円の増などに対し、穂高広域施設組合新ごみ処理施設建設事業28億1,600万円、水道事業負担金1億2,300万円の減などにより、21億6,800万円の減額になりました。

農林水産業費については、ほりで一ゆ〜改修事業2,100万円の増などに対し、国営広域排水事業負担金7,800万円、農業施設維持工事（市単）1,900万円の減などにより1億200万円の減額になりました。

商工費については、飲食店等応援給付金等事業1億4,900万円の増などに対し、産業団地特別会計繰出金（建設）4億2,200万円、プレミアム付商品券事業1億7,200万円の減などにより、6億2,900万円の減額になりました。

土木費については、新総合体育館建設事業5億9,900万円の減などに対し、【明許】新総合体育館建設事業20億6,200万円、【明許】都市再生整備計画（明科駅周辺）1億9,400万円の増などにより、17億7,100万円の増額になりました。

消防費については、消防施設維持整備事業400万円の増などに対し、消防団詰所更新・統廃合事業2,300万円、災害対策総務費600万円の減などにより、6,900万円の減額になりました。

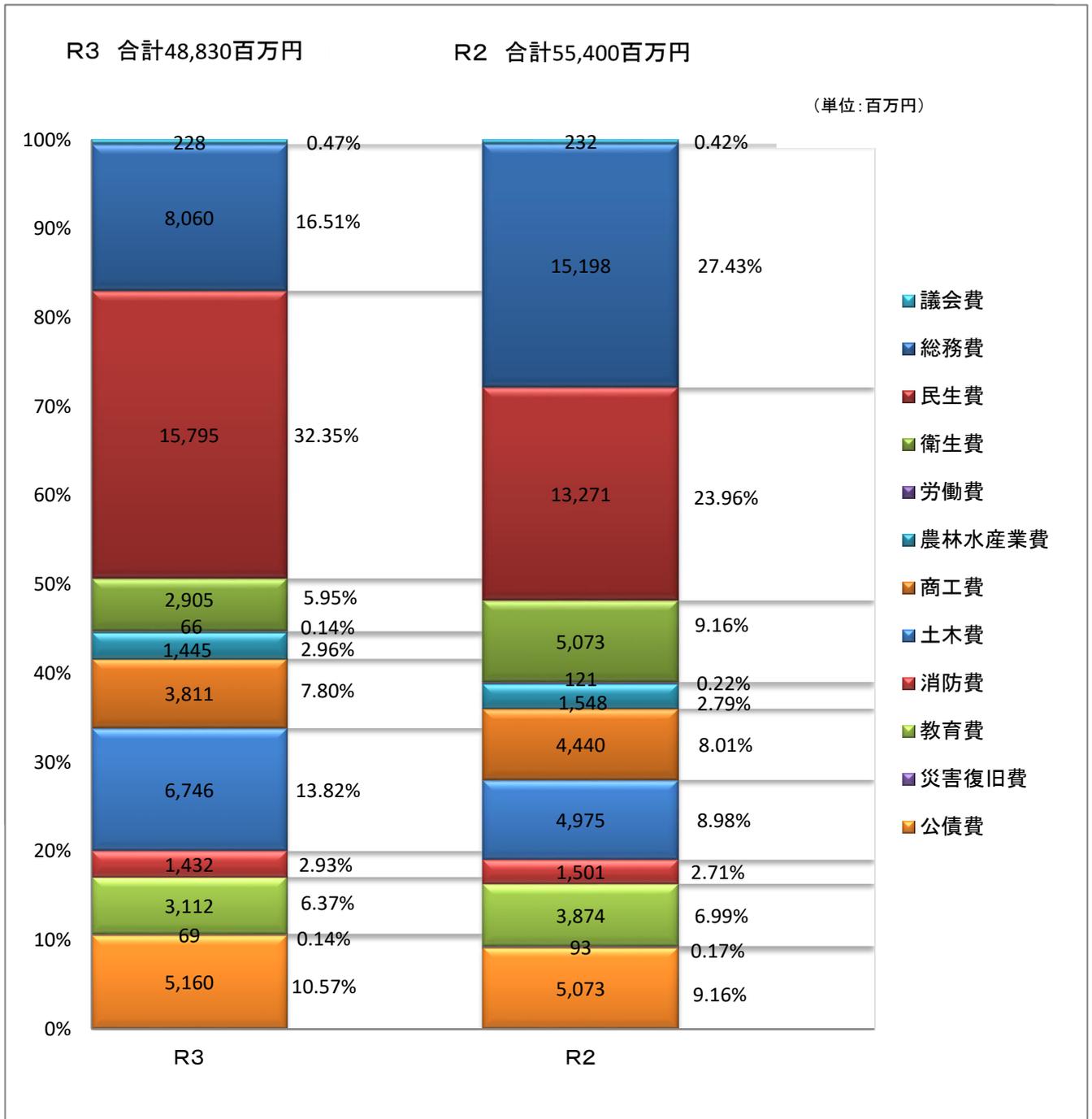
教育費については、穂高プール解体工事1億1,400万円の増などに対し、学校システム管理事業2億600万円、中学校情報教育推進事業1億100万円の減などにより、7億6,200万円の減額になりました。

歳出決算額（目的別）

（単位：千円）

款	令和3年度	令和2年度	比較	主な増減内容（増減額）			
議会費	228,378	232,084	△ 3,706	議会費 △300万円			
総務費	8,060,318	15,198,180	△ 7,137,862	特別定額給付金給付事業 △97億6,200万円	寄附採納事務 △3億5,400万円	財政4基金積立金 31億5,400万円	
民生費	15,795,402	13,271,374	2,524,028	令和3年度子育て世帯等臨時特別支援事業 11億5,200万円	住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業 7億3,400万円	穂高北部児童館整備事業 3億2,100万円	子育て世帯への臨時特別給付金事業 △1億2,200万円
衛生費	2,904,710	5,073,461	△ 2,168,751	新ごみ処理施設建設事業 △28億1,600万円	水道事業負担金 △1億2,300万円	新型コロナウイルスワクチン接種対策事業4億9,100万円	
労働費	66,015	121,200	△ 55,185	勤労者支援事業 △100万円			
農林水産業費	1,445,408	1,547,536	△ 102,128	国営広域排水事業負担金△7,800万円	農業施設維持工事（市単）△1,900万円	ほりで一ゆ〜改修事業2,100万円	
商工費	3,810,708	4,440,402	△ 629,694	産業団地特別会計繰出金（建設） △4億2,200万円	プレミアム付商品券事業 △1億7,200万円	飲食店等応援給付金等事業 1億4,900万円	
土木費	6,746,478	4,975,235	1,771,243	【明許】新総合体育館建設事業 20億6,200万円	【明許】都市再生整備計画（明科駅周辺） 1億9,400万円	新総合体育館建設事業 △5億9,900万円	
消防費	1,431,564	1,501,144	△ 69,580	消防団詰所更新・統廃合事業 △2,300万円	災害対策総務費 △600万円	消防施設維持整備事業 400万円	
教育費	3,111,902	3,874,262	△ 762,360	学校システム管理事業 △2億600万円	中学校情報教育推進事業 △1億100万円	穂高プール解体工事 1億1,400万円	
災害復旧費	69,214	92,664	△ 23,450	道路災害復旧事業 △2,800万円	耕地災害復旧事業 △2,000万円	【明許】耕地災害復旧事業 2,800万円	
公債費	5,159,534	5,072,611	86,923	長期借入金償還元金 1億1,200万円	長期借入金償還利子 △2,500万円		
合計	48,829,631	55,400,153	△ 6,570,522				

※P6の歳出決算額（性質別）の主な増減内容に記載した事業等が同一であっても金額が異なる場合があります。



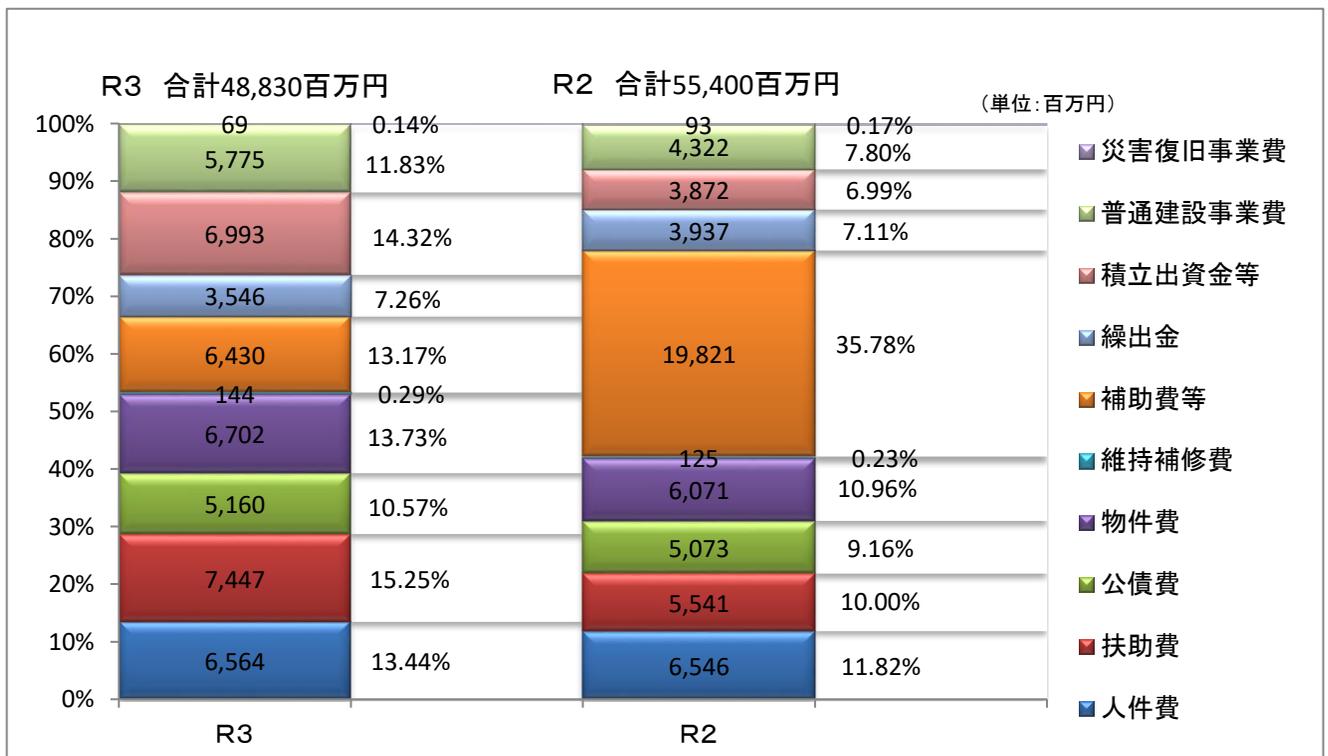
※百万円未満四捨五入により合計額は一致しない場合があります。
 ※構成比については、四捨五入により100%とならない場合があります。

歳出決算額（性質別）

（単位：千円）

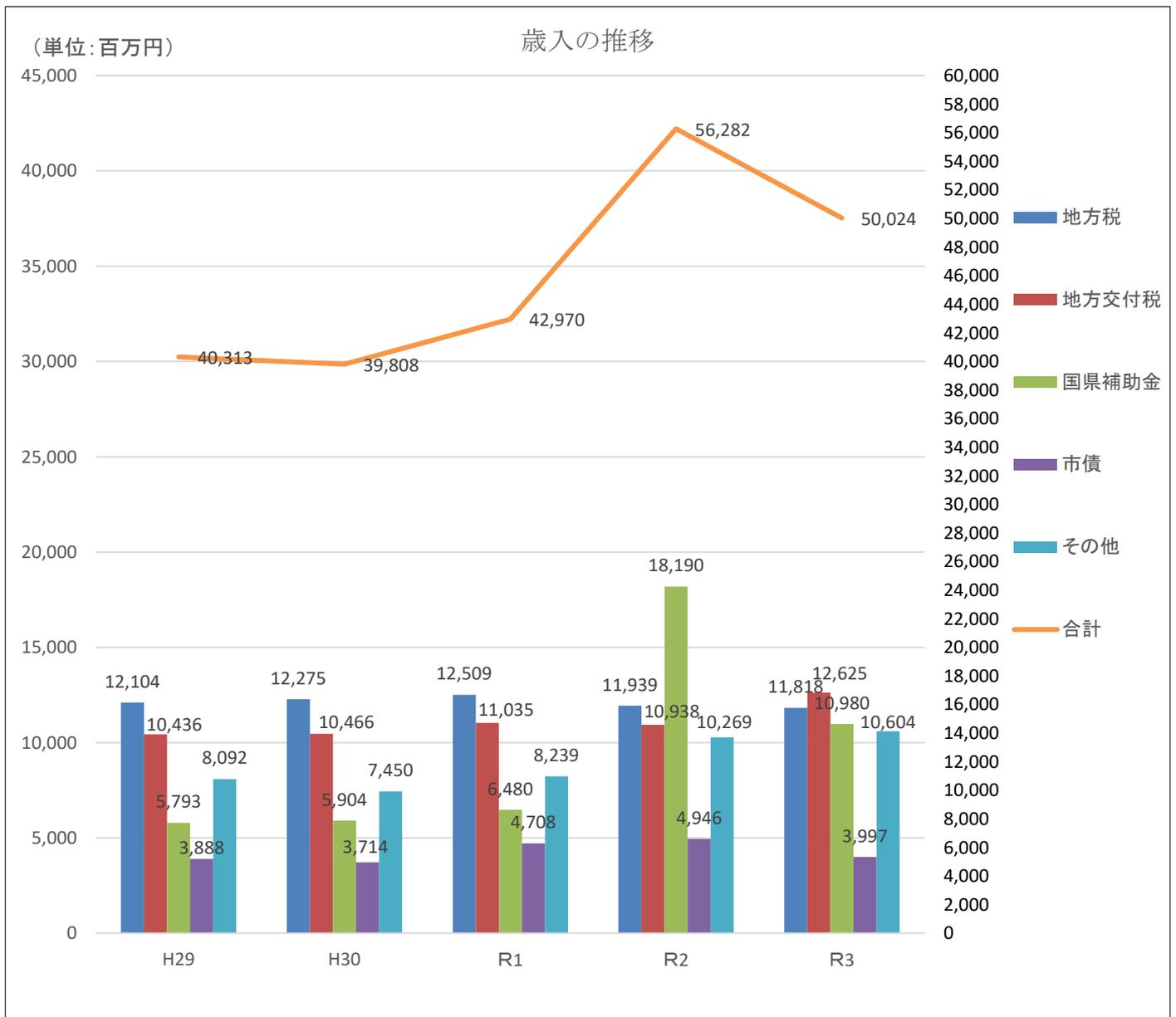
区分	令和3年度	令和2年度	比較	主な増減内容（増減額）			
人件費	6,563,625	6,546,007	17,618	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業 3,500万円	保健衛生総務費 3,200万円	国勢調査費 △3,100万円	一般管理費 △3,000万円
扶助費	7,447,437	5,540,630	1,906,807	令和3年度子育て世帯等臨時特別支援事業 11億4,800万円	住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業 7億2,300万円	子育て世帯への臨時特別給付金事業 △1億1,900万円	ひとり親世帯臨時特別給付金事業 △9,700万円
公債費	5,159,534	5,072,611	86,923	長期借入金償還元金 1億1,200万円	長期借入金償還利子 △2,500万円		
物件費	6,701,946	6,070,546	631,400	新型コロナウイルスワクチン接種対策事業 4億9,100万円	飲食店等応援給付金等事業 1億4,900万円	学校システム管理事業 △2億600万円	プレミアム付商品券事業 △1億7,100万円
維持補修費	143,547	124,686	18,861	ファインビュー室山改修事業 2,000万円			
補助費等	6,430,237	19,821,197	△13,390,960	特別定額給付金給付事業 △97億2,500万円	穂高広域施設組合新ごみ処理施設建設事業 △28億1,600万円	新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金事業 △3億5,500万円	制度資金貸付事業 △2億400万円
繰出金	3,545,657	3,937,273	△391,616	産業団地特別会計繰出金（建設） △4億2,200万円	介護保険特別会計繰出金 2,600万円		
積立出資金等	6,993,345	3,872,272	3,121,073	財政4基金積立金 31億5,400万円	制度資金貸付事業 3億円	寄附採納事務 △2億6,500万円	水道事業出資金 △7,300万円
普通建設事業費	5,775,089	4,322,267	1,452,822	【明許】新総合体育館建設事業 20億6,200万円	穂高北部児童館整備事業 3億2,100万円	新総合体育館建設事業 △6億500万円	【明許】道路橋梁修繕事業（交付金） △4億6,600万円
災害復旧事業費	69,214	92,664	△23,450	道路災害復旧事業 △2,800万円	耕地災害復旧事業 △2,000万円	【明許】耕地災害復旧事業 2,800万円	
合計	48,829,631	55,400,153	△6,570,522				

※P4の歳出決算額（目的別）の主な増減内容に記載した事業等が同一であっても金額が異なる場合があります。



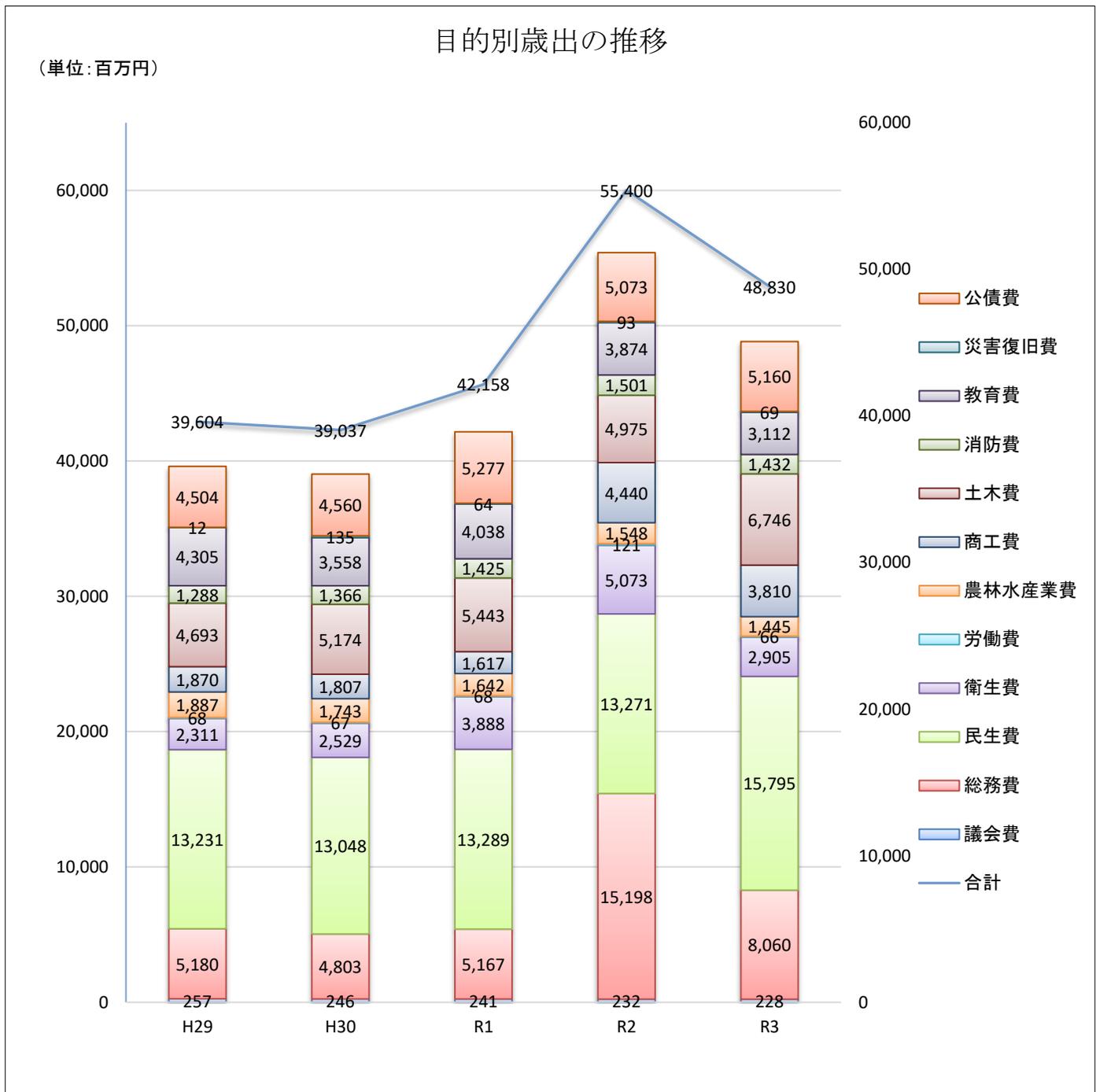
※百万円未満四捨五入により合計額は一致しない場合があります。
 ※構成比については、四捨五入により100%とならない場合があります。

4 普通会計決算額等の推移状況



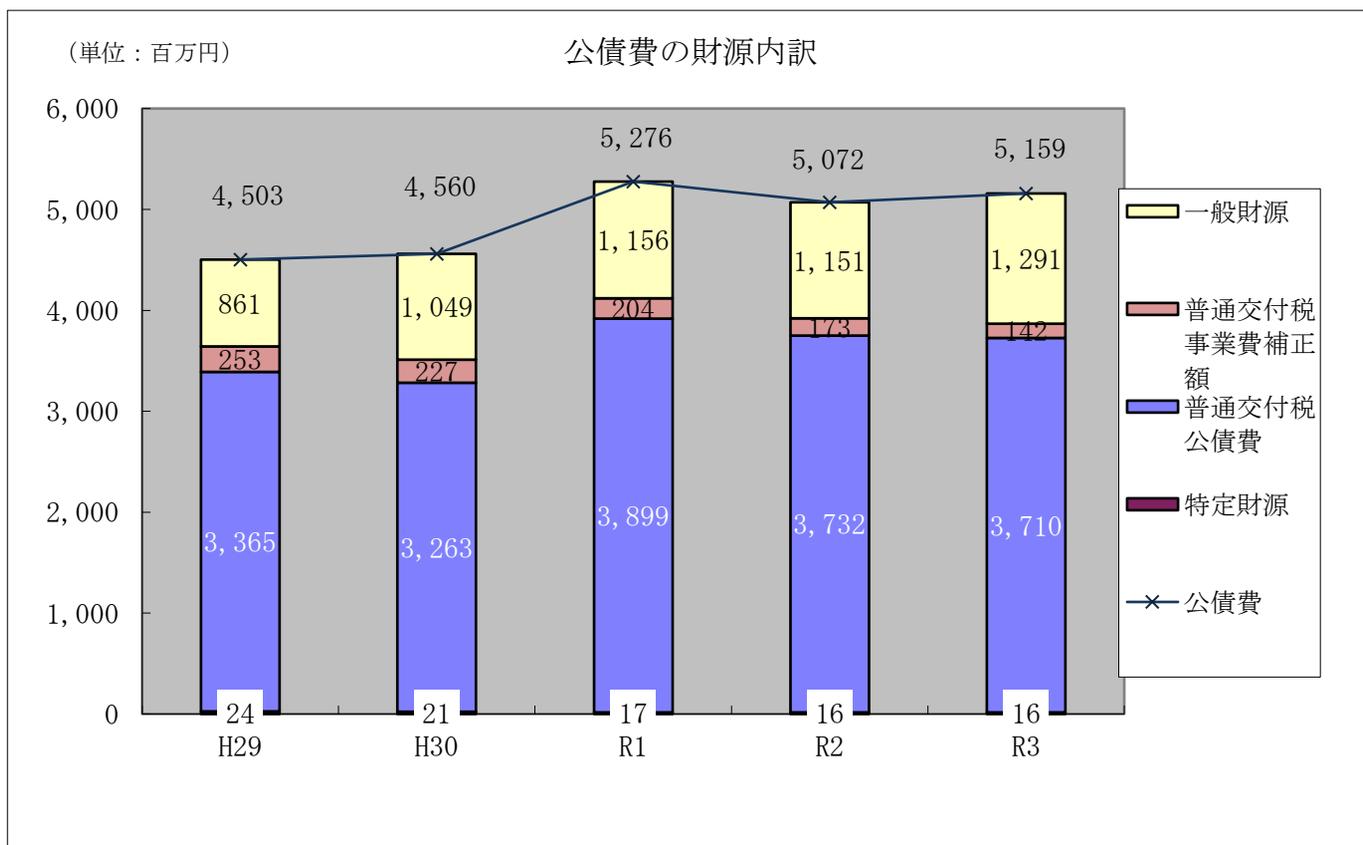
※百万円未満四捨五入により合計額は一致しない場合があります。

目的別歳出内訳（普通会計）



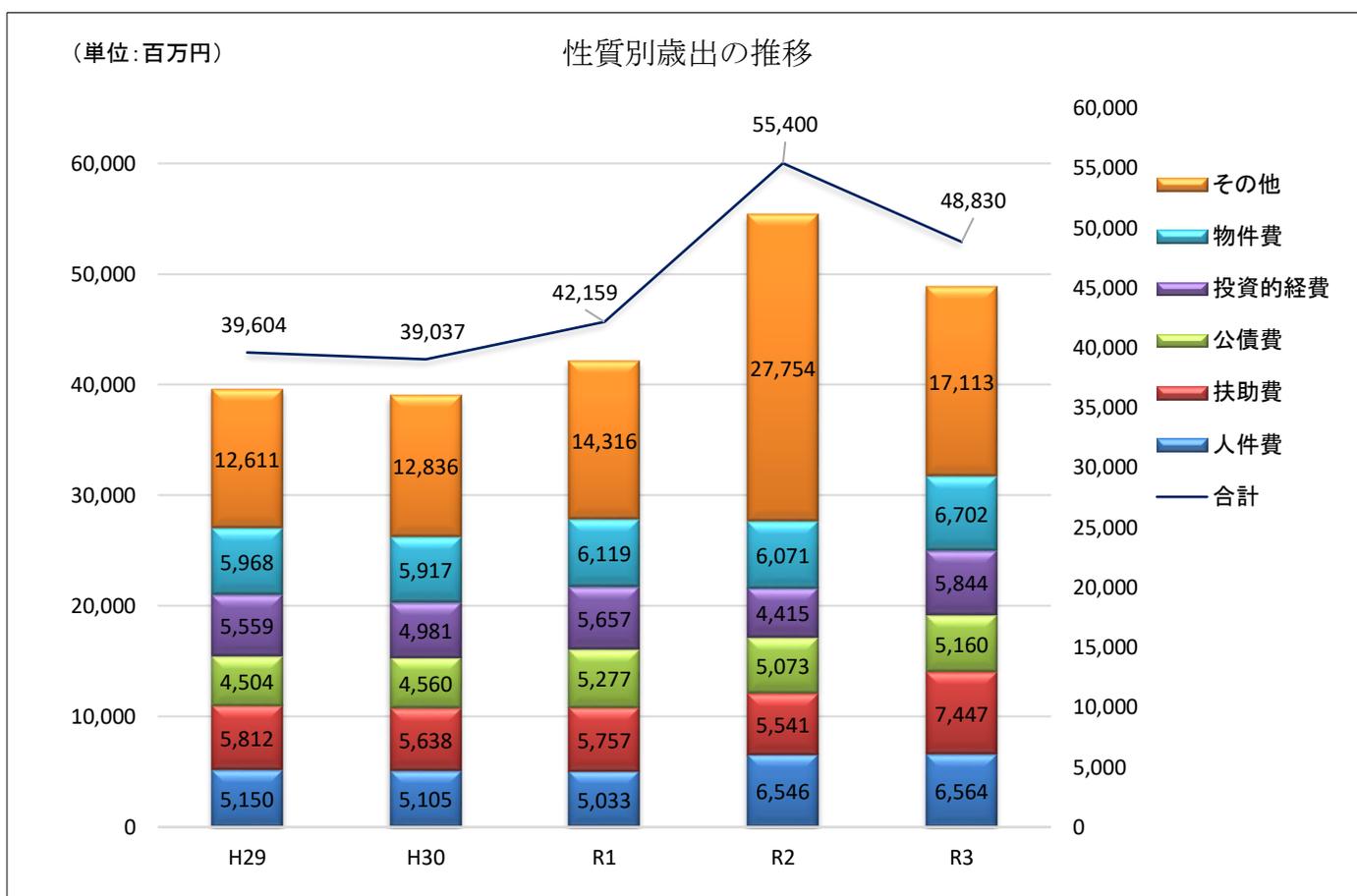
※百万円未満四捨五入により合計額は一致しない場合があります。

公債費の財源分析



※実質公債費比率の算定資料より抜粋しています。

性質別歳出の内訳

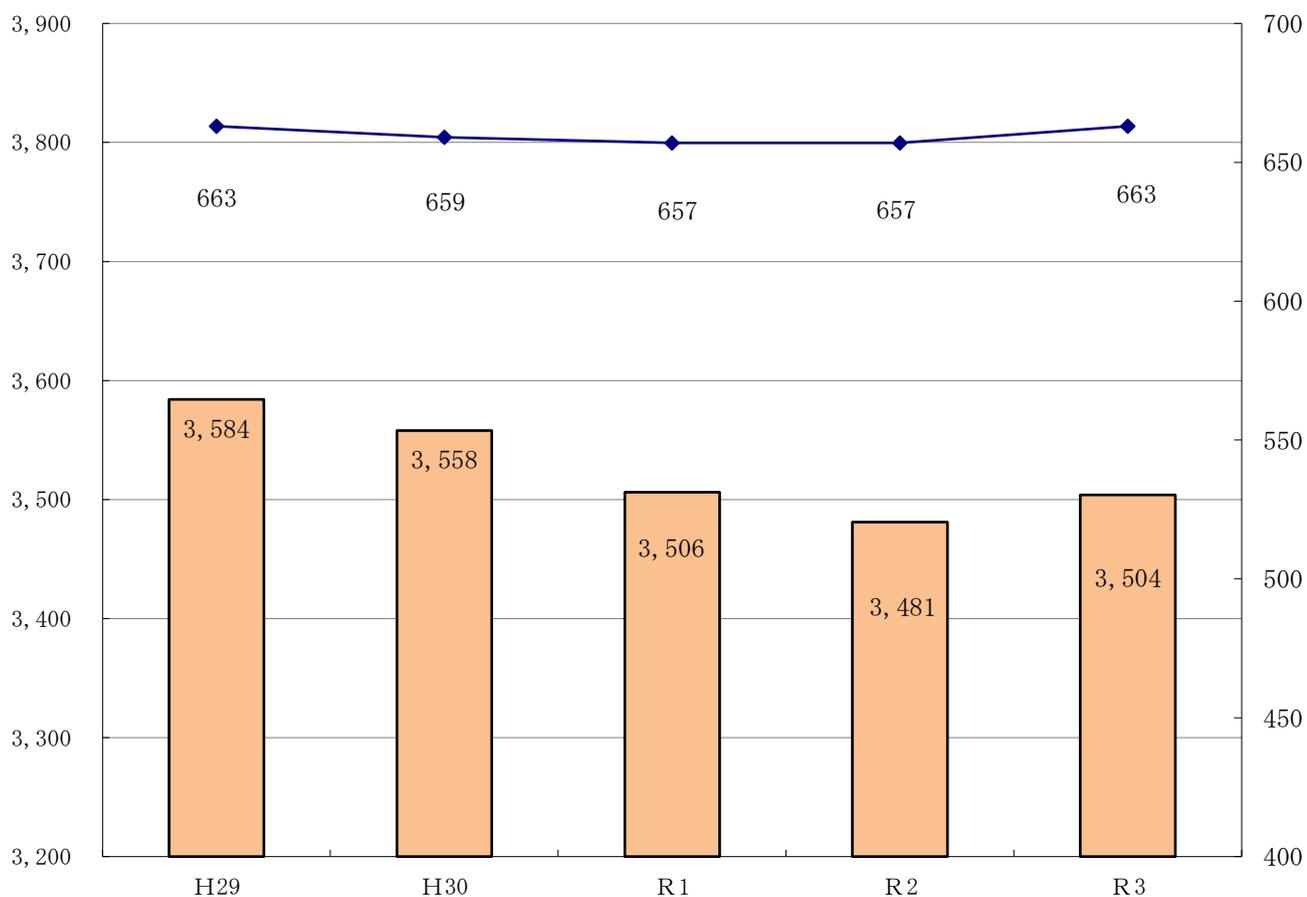


※百万円未満四捨五入により合計額は一致しない場合があります。

○職員給与と職員数の推移

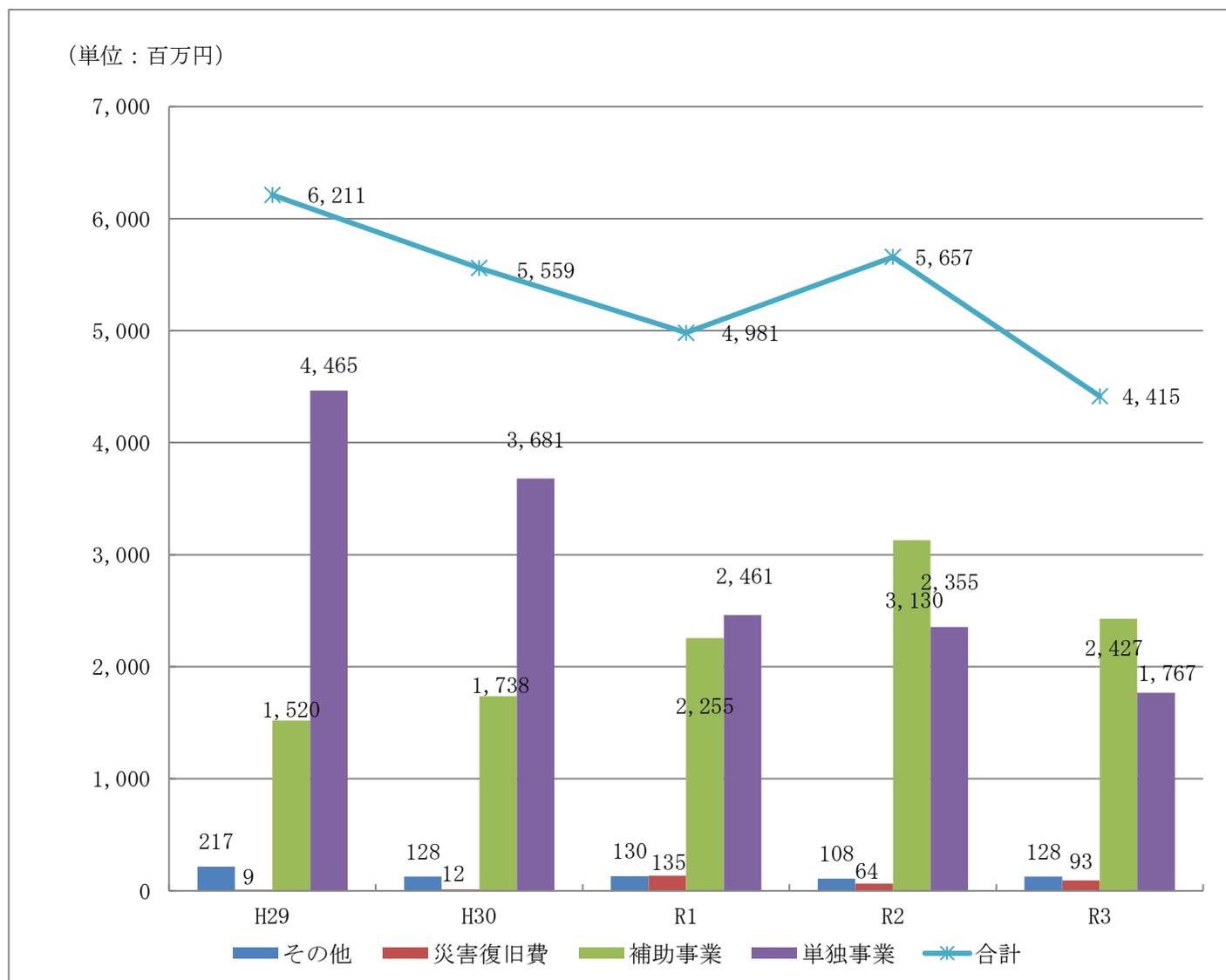
(単位：百万円)

(人)

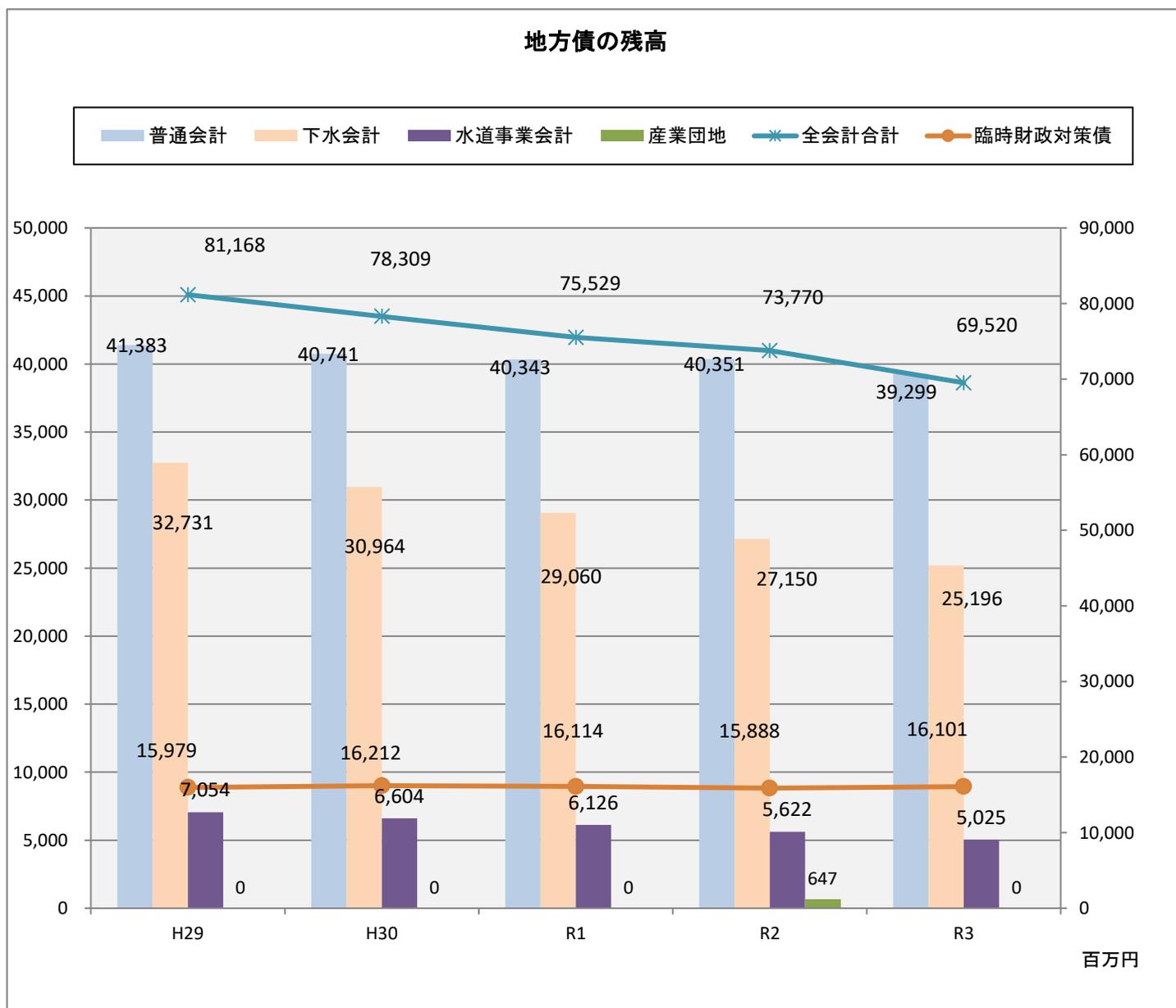


統計分類で人件費として区分した額のうち、職員の推移状況

○投資的経費（普通建設事業費・補助単独、災害復旧費）の推移



○地方債残高の推移（公営企業を含む）



※H28年度から下水特別会計と農集排特別会計は公営企業会計(法適用)になり、下水会計に含まれています。

【参考】 旧合併特例事業債等の発行内訳

(単位：百万円)

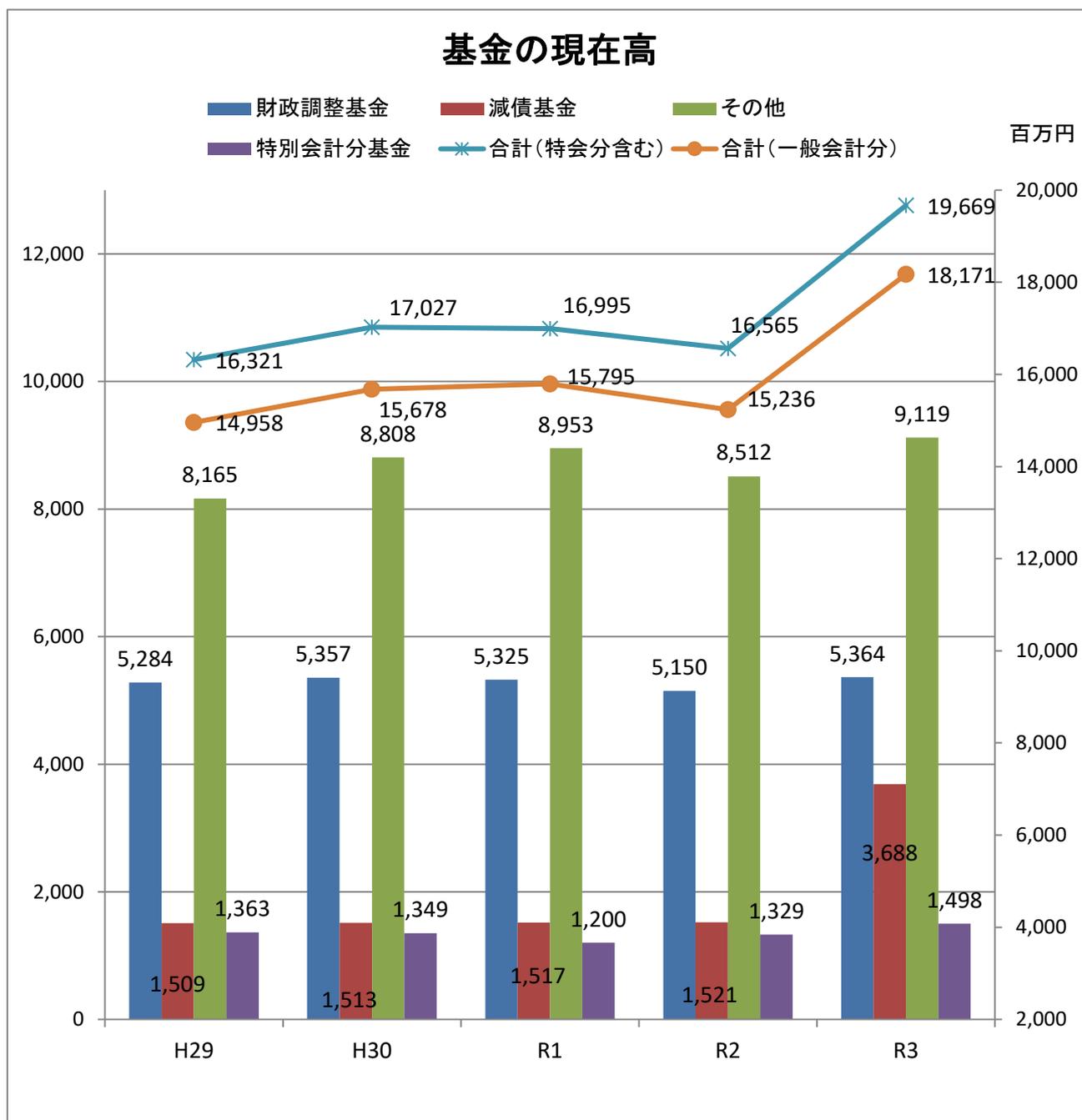
平成17年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
臨時財政対策債 1,277.6	臨時財政対策債 400.0	臨時財政対策債 1,000.0	臨時財政対策債 1,554.0
旧合併特例事業債 計 4.4	旧合併特例事業債 計 3,177.0	旧合併特例事業債 計 1,685.8	旧合併特例事業債 計 2,006.1
中部・南部給食センター 4.4	中部・南部給食センター 964.3	穂高交流学习センター 348.2	穂高交流学习センター 66.0
平成18年度	穂高交流学习センター 463.8	有明保育園 576.4	豊科交流学习センター 69.5
臨時財政対策債 1,177.7	三郷児童館 202.5	安曇野赤十字病院建設補助 459.5	有明保育園 118.7
旧合併特例事業債 計 1,772.6	豊岳荘建設補助 171.0	堀金保育園 301.7	安曇野赤十字病院建設補助 1,641.3
中部・南部給食センター 376.1	有明保育園 149.9		防災行政無線 38.3
豊岳荘建設補助 171.0	地域振興基金 1,225.5		龍門湖公園 72.3
地域振興基金 1,225.5			

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
臨時財政対策債 2,647.0	臨時財政対策債 1,968.6	臨時財政対策債 1,620.0	臨時財政対策債 1,500.0
旧合併特例事業債 計 2,027.1	旧合併特例事業債 計 2,673.5	旧合併特例事業債 計 2,455.1	旧合併特例事業債 計 3,000.2
堀金児童館 45.1	新本庁舎 871.0	新本庁舎 1,610.1	体育施設(高家、県民、穂高会館) 682.8
豊科交流学习センター 321.2	明科総合支所 241.9	明科総合支所 217.8	庁舎建設 1,253.8
豊科南部保育園 58.9	北穂高保育園 100.6	防災広場 3.7	保育所 179.2
安曇野赤十字病院建設補助 1,188.4	防災行政無線 183.5	三郷南部保育園 130.7	防災行政無線 32.2
防災行政無線 139.3	北部給食センター 706.5	北穂高保育園 88.4	上水道出資 383.2
北部給食センター 274.2	地域振興基金 570.0	市道新設改良事業 57.8	豊科交流学习センター 141.6
		豊科交流学习センター 71.2	温浴施設 113.5
		県民グラウンド 91.1	市道新設改良 213.9
		穂高会館 24.9	
		南部グラウンド 159.4	

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
臨時財政対策債 1,700.0	臨時財政対策債 1,600.0	臨時財政対策債 1,448.7	臨時財政対策債 1,522.7
旧合併特例事業債 計 5,780.2	旧合併特例事業債 計 2,303.5	旧合併特例事業債 計 2,171.9	旧合併特例事業債 計 1,563.3
庁舎建設事業(本庁舎) 2,714.9	庁舎建設事業(穂高支所) 250.8	地域振興基金積立金 190.0	地域振興基金積立金 95.0
庁舎建設事業(穂高支所) 11.2	庁舎建設事業(三郷支所) 494.1	庁舎建設事業(穂高支所) 296.2	保育所建設事業 594.8
防災行政無線 385.7	庁舎建設事業(堀金支所) 353.9	保育所建設事業(アルプス) 209.0	しゃくなげの湯整備事業 148.9
防災広場 324.8	三郷北部保育園 15.9	保育所建設事業(明科南) 106.9	市道新設改良事業 44.1
市道新設改良 265.1	温浴施設(しゃくなげの湯) 168.4	保育所建設事業(三郷北部) 80.7	堀金公民館講堂改修・文書館整備事業 265.9
穂高会館 865.3	市道新設改良 181.9	保育所建設事業(たつみ) 30.7	豊科公民館駐車場整備事業 53.5
豊科公民館 365.0	防災行政無線 50.2	しゃくなげの湯整備事業 714.9	三郷交流学习センター建設事業 361.1
南部多目的広場 189.6	豊科公民館 694.9	市道新設改良 22.4	
温浴施設(しゃくなげの湯) 17.4	三郷交流学习センター 2.7	豊科支所跡地整備事業 127.1	
保育園(アルプス、三郷南部) 253.7	水道事業出資金 90.7	三郷交流学习センター建設事業 394.0	
水道事業出資金 387.5			

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
臨時財政対策債 1,489.8	臨時財政対策債 1,241.2	臨時財政対策債 1,186.7	臨時財政対策債 1,694.9
旧合併特例事業債 計 1,418.5	旧合併特例事業債 計 2,639.5	旧合併特例事業債 計 3,268.5	旧合併特例事業債 計 1,043.5
地域振興基金積立金 374.0	施設除却事業 22.2	施設除却事業 39.9	保育所建設事業 42.8
保育所建設事業 401.2	保育所建設事業 414.6	消防団詰所統廃合事業 34.4	児童館建設事業 241.7
一般会計出資債(上水道分) 237.3	一般会計出資債(上水道分) 279.1	【事故】体育施設整備事業 8.5	消防団詰所統廃合事業 11.2
新ごみ処理施設建設事業 6.6	新ごみ処理施設建設事業 1,300.7	【事故】保育所建設事業 18.5	街路事業 30.3
【事故】一般会計出資債(上水道分) 95.3	市道新設改良事業 243.4	保育所建設事業 104.5	都市公園事業 34.2
しゃくなげの湯整備事業 117.6	【明許】市道新設改良事業 3.0	北部児童館建設事業 31.7	市道新設改良事業 222.2
【明許】しゃくなげの湯整備事業 18.1	体育施設整備事業 332.0	一般会計出資債(上水道分) 73.9	体育施設整備事業 58.5
市道新設改良事業 61.8	【明許】体育施設整備事業 44.5	新ごみ処理施設建設事業 2,391.9	体育施設耐震補強事業 20.6
体育施設整備事業 106.6		街路事業 53.0	施設除却事業 113.9
		都市公園事業 9.5	【明許】市道新設改良事業 25.2
		市道新設改良事業 171.0	【明許】体育施設整備事業 155.5
		体育施設整備事業 301.0	【事故】市道新設改良事業 87.4
		かじかの里トイレ整備事業 30.7	

○基金の現在高の推移



5 地方交付税算定額、財政力指数の推移

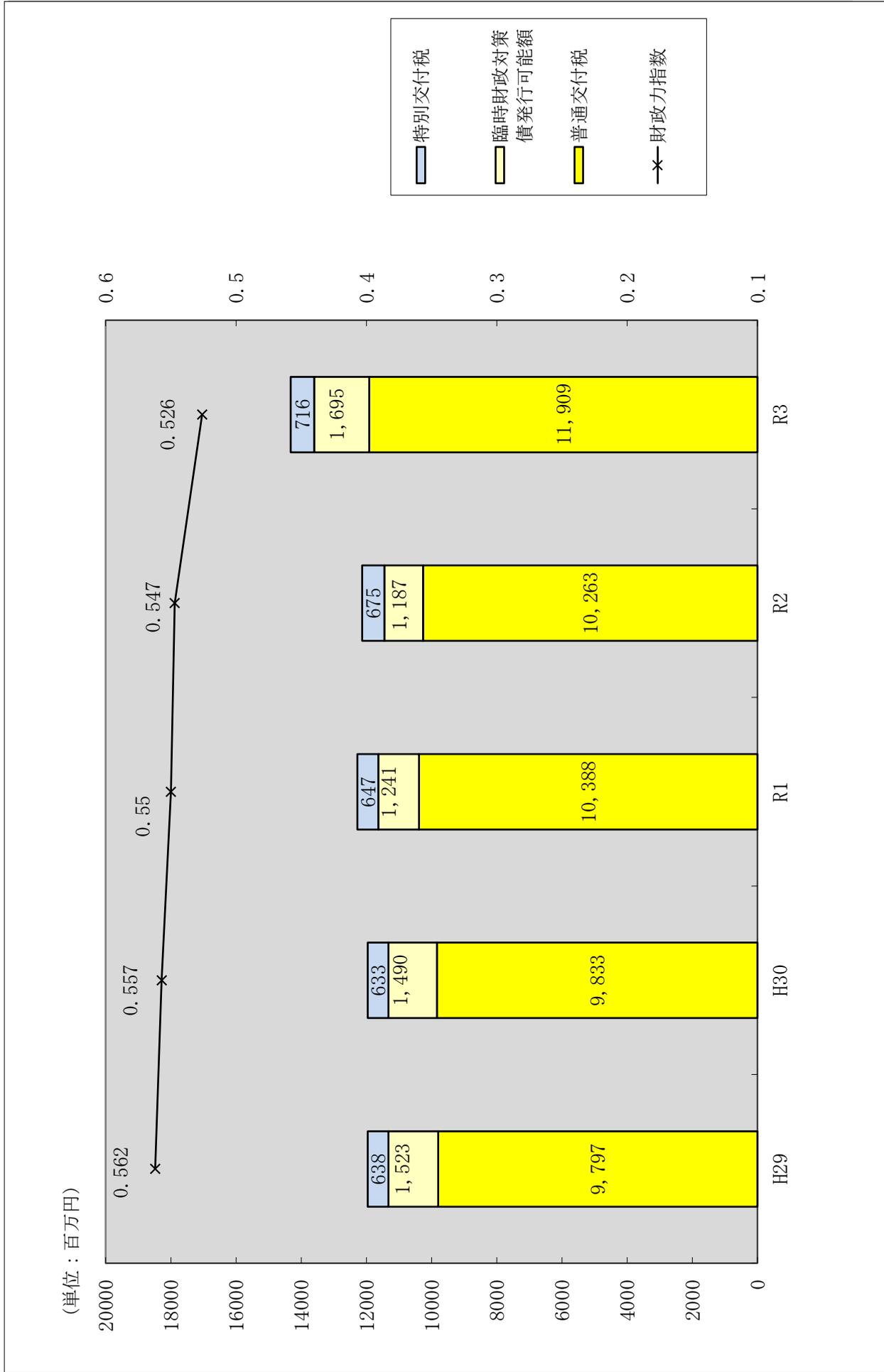
(単位：千円)

	基準財政収入額A	基準財政需要額B	普通交付税(基準額)	財政力指数(単年)	財政力指数(3年平均)	地方交付税に係る全体的な情勢	
						平成29年度	平成30年度
安曇野市	平成29年度	11,286,719	20,296,367	9,009,648	0.556	0.562	「ニッポン一億総活躍プラン」に基づく保育士等の処遇改善の事業費に対応した厚生関連費目の増額、及び合併算定替縮減(30%)等による減額。
	〃(算定替)	11,318,111	21,373,729	10,055,618	0.530	0.519	
	平成30年度	11,283,069	20,430,301	9,147,232	0.552	0.557	まち・ひと・しごと創生事業費に対応した地域の元気創造事業費及び人口減少等特別対策事業費の増額、及び合併算定替縮減(50%)等による減額。
	〃(算定替)	11,314,185	21,147,569	9,833,384	0.535	0.530	
	令和元年度	11,612,364	21,468,578	9,973,904	0.541	0.550	まち・ひと・しごと創生事業費に対応した地域の元気創造事業費及び人口減少等特別対策事業費の増額、及び合併算定替縮減(70%)等による減額。
	〃(算定替)	11,643,718	21,933,375	10,407,347	0.531	0.532	
	令和2年度	12,205,004	22,275,901	10,071,647	0.548	0.547	保育無償化等制度改正に伴う社会福祉費の増額、及び合併算定替縮減(90%)等による減額。
	〃(算定替)	12,236,663	22,510,169	10,274,256	0.544	0.537	
	令和3年度	11,291,268	23,041,351	11,908,620	0.490	0.526	地域デジタル社会推進費の創設による増額、及び合併算定替終了に伴う一本算定による減額。国補正予算における臨時経済対策費、臨時財政対策債償還基金費の創設による増額。

※令和2年度までは基準財政需要額は、合併算定替縮減額を控除した額となります。

※錯誤前、調整前の数値のため実際の交付額と相違する場合があります。

地方交付税算定額等の推移



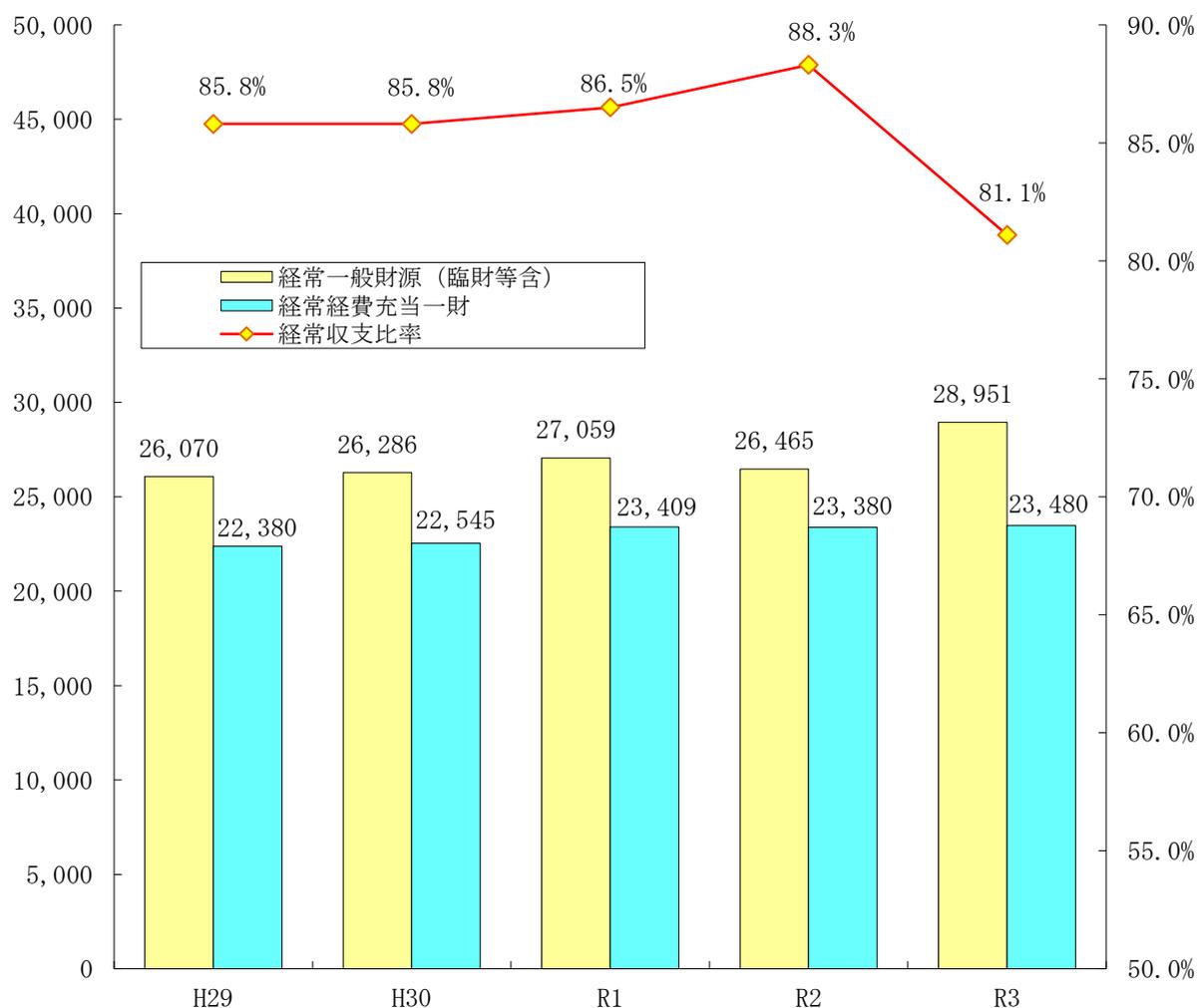
6 経常収支比率の推移

(単位：千円、%)

	歳入決算額			歳出決算額		経常収支比率
		うち 経常 一般財源	うち 臨時財政 対策債等		経常一般財源充 当額	
H29	40,312,815	24,547,271	1,522,749	39,604,992	22,380,402	85.8%
H30	39,808,437	24,796,513	1,489,752	39,037,637	22,545,208	85.8%
R1	42,970,385	25,817,792	1,241,191	42,158,666	23,408,725	86.5%
R2	56,282,503	25,278,604	1,186,728	55,400,153	23,379,989	88.3%
R3	50,024,467	27,255,869	1,694,896	48,829,631	23,479,913	81.1%

※経常収支比率は、経常一般財源充当額÷経常一般財源（臨時財政対策債含む）による数値です。

(単位：百万円)



<経常一般財源(臨時財政対策債含む)のR3-R2比較について>

令和3年度普通交付税について、合併算定替の終了はありましたが、基準財政需要額は国補正予算の再算定により臨時経済対策費(1億5,000万円)・臨財債償還基金費(4億6,000万円)など増額があったこと、また市町村民税(△7億7,000万円)・固定資産税(△1億6,000万円)の税収減などにより基準財政収入額の減から16億4,600万円の増額となりました。その他、臨時財政対策債、法人事業税交付金、地方特例交付金の増などにより、経常一般財源は24億8,500万円の増額となりました。

<経常一般財源充当額のR3-R2比較について>

公債費の増などにより義務的経費充当額が8,700万円の増となり、また補助費等が5,700万円の増となったことなどにより、充当額全体で1億円の増額となりました。

<経常収支比率のR3-R2比較について>

歳入である普通交付税16億4,500万円、地方消費税交付金1億9,300万円の増など、経常収支比率算定の分母が大きくなったことにより、前年度対比7.2%減となりました。

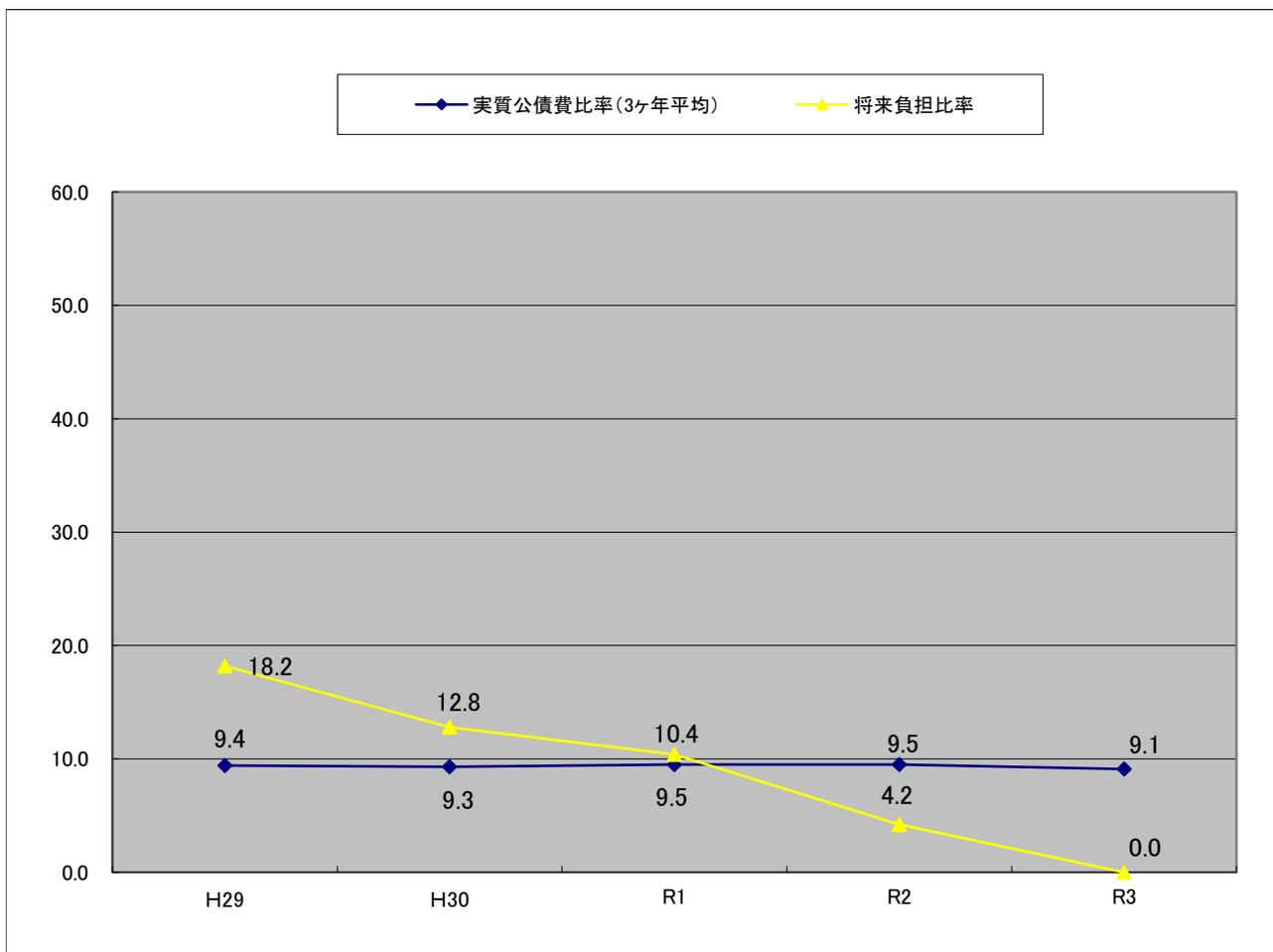
7 健全化判断比率の推移

健全化判断比率とは、平成19年度に成立した「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」において、地方公共団体の財政の健全性を示すものとして定められた指標です。

年度	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
H29	-	-	9.4	18.2
	(12.04)	(17.04)	(25.0)	(350.0)
H30	-	-	9.3	12.8
	(12.04)	(17.04)	(25.0)	(350.0)
R1	-	-	9.5	10.4
	(12.00)	(17.00)	(25.0)	(350.0)
R2	-	-	9.5	4.2
	(11.97)	(16.97)	(25.0)	(350.0)
R3	-	-	9.1	-
	(11.92)	(16.92)	(25.0)	(350.0)

備考

- 1 実質赤字額又は連結実質赤字額がない場合及び実質公債比率又は将来負担比率が算定されない場合は「-」を記載
- 2 早期健全化基準は括弧内に記載



8 財政規模と決算概要（普通会計）

項目		令和元年度	令和2年度	令和3年度
人口	平成17年国勢調査人口 A	96,266 人	96,266 人	96,266 人
	平成27年国勢調査人口 B	95,282 人	95,282 人	95,282 人
	令和2年国勢調査人口 C	-	94,222 人	94,222 人
	住民登録人口（3月31日） D	97,368 人	96,903 人	96,659 人
人口増減率	国調(B-A/A)×100	△ 1.02 %	△ 1.02 %	△ 1.02 %
	国調(C-B/B)×100	- %	△ 1.11 %	△ 1.11 %
	住民登録人口（前年比）	△ 0.72 %	△ 0.48 %	△ 0.25 %
産業構造 H27年国調数値 →R2年度まで R2年国調数値 →R3年度から	第1次産業	4,239 人	4,239 人	3,839 人
	第2次産業	13,529 人	13,529 人	13,095 人
	第3次産業	29,560 人	29,560 人	29,782 人
面積 E	331.78 km ²	331.78 km ²	331.78 km ²	
人口密度	国調 C/E	287.18 人/km ²	283.99 人/km ²	283.99 人/km ²
	住民登録 D/E	293.47 人/km ²	292.07 人/km ²	291.33 人/km ²
歳入総額（前年度対比） F		42,970,385 千円 6.6 %	56,282,503 千円 31.0 %	50,024,467 千円 △ 11.1 %
歳出総額（前年度対比） G		42,158,666 千円 6.4 %	55,400,153 千円 31.4 %	48,829,631 千円 △ 11.9 %
歳入歳出差引額（形式収支）(F-G) H		811,719 千円	882,350 千円	1,194,836 千円
翌年度へ繰越すべき財源 I		51,639 千円	62,226 千円	236,800 千円
実質収支 H-I J		760,080 千円	820,124 千円	958,036 千円
単年度収支 K		87,545 千円	60,044 千円	137,912 千円
積立金 L		373,731 千円	404,212 千円	731,012 千円
繰上償還金 M		0 千円	0 千円	0 千円
積立金取崩額 N		406,196 千円	578,830 千円	517,329 千円
実質単年度収支 K+L+M-N O		55,080 千円	△ 114,574 千円	351,595 千円
一本算定	基準財政需要額（前年度対比）	21,468,578 千円 5.8 %	22,275,901 千円 3.8 %	23,041,351 千円 3.4 %
	基準財政収入額（前年度対比）	11,612,364 千円 2.9 %	12,205,004 千円 5.1 %	11,291,268 千円 △ 7.5 %
	標準財政規模（前年度対比）	26,364,136 千円 2.8 %	26,829,252 千円 1.8 %	27,095,739 千円 1.0 %
財政力指数（単年度）		(0.541) 0.550	(0.548) 0.547	(0.490) 0.526
実質収支比率		2.9 %	3.1 %	3.5 %
経常収支比率（臨財債除く）		(90.7) 86.5 %	(92.5) 88.3 %	(86.1) 81.1 %
実質公債費比率（単年度）		(9.8) 9.5 %	(9.0) 9.5 %	(8.6) 9.1 %
将来負担比率		10.4 %	4.2 %	- %
積立金現在高（土地開発基金除く）（前年度対比）		15,542,611 千円 5.7 %	14,983,631 千円 △ 3.6 %	17,971,034 千円 19.9 %
地方債現在高（前年度対比）		40,342,992 千円 △ 2.5 %	40,351,448 千円 0.0 %	39,298,949 千円 △ 2.6 %
翌年度以降の債務負担支出予定額		7,266,753 千円 26.9 %	7,237,926 千円 △ 0.4 %	6,023,619 千円 △ 16.8 %

令和3年度決算に基づく
健全化判断比率について

安曇野市総務部財政課

健全化判断比率の概要

地方公共団体の財政の健全化に関する法律（健全化法）では、地方公共団体の財政状況を客観的に表し、財政の早期健全化や再生の必要性を判断するためのものとして、以下の4つの財政指標を「健全化判断比率」として定めています。

○実質赤字比率

一般会計等に生じている赤字の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものの。

$$\text{実質赤字比率} = \frac{\text{一般会計等の実質赤字額}}{\text{標準財政規模}} \times 100$$

○連結実質赤字比率

地方公共団体全会計に生じている赤字の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものの。

$$\text{連結実質赤字比率} = \frac{\text{連結実質赤字額}}{\text{標準財政規模}} \times 100$$

○実質公債費比率（3カ年平均）

地方公共団体の公債費の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものの。

$$\text{実質公債費比率} = \frac{(\text{地方債の元利償還金} + \text{準元利償還金}) - (\text{特定財源} + \text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る交付税算入額})}{\text{標準財政規模} - (\text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る交付税算入額})} \times 100$$

※準元利償還金：特別会計及び一部事務組合の地方債償還に充てられたと認められる繰出金及び負担金

○将来負担比率

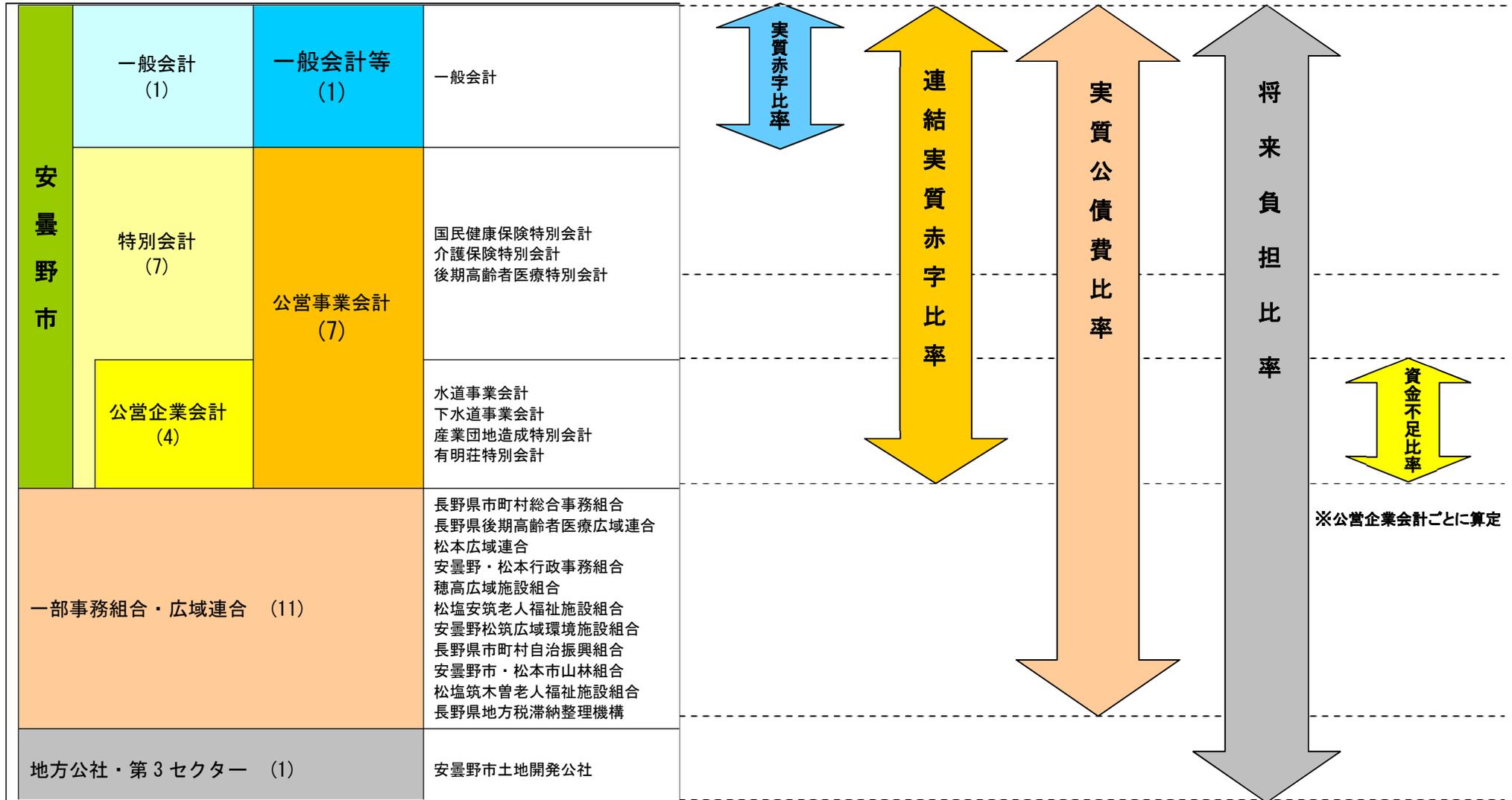
地方公共団体の地方債など、現在抱えている負担の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものの。

$$\text{将来負担比率} = \frac{\text{将来負担額} - (\text{充当可能財源} + \text{地方債現在高に係る交付税算入額})}{\text{標準財政規模} - (\text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る交付税算入額})} \times 100$$

※将来負担額：地方債現在高、債務負担行為による支出負担額、特別会計の地方債に充当する繰入見込額及び一部事務組合への負担見込額、退職手当負担見込額等の総計
充当可能財源：充当可能基金、公営住宅の賃貸料等

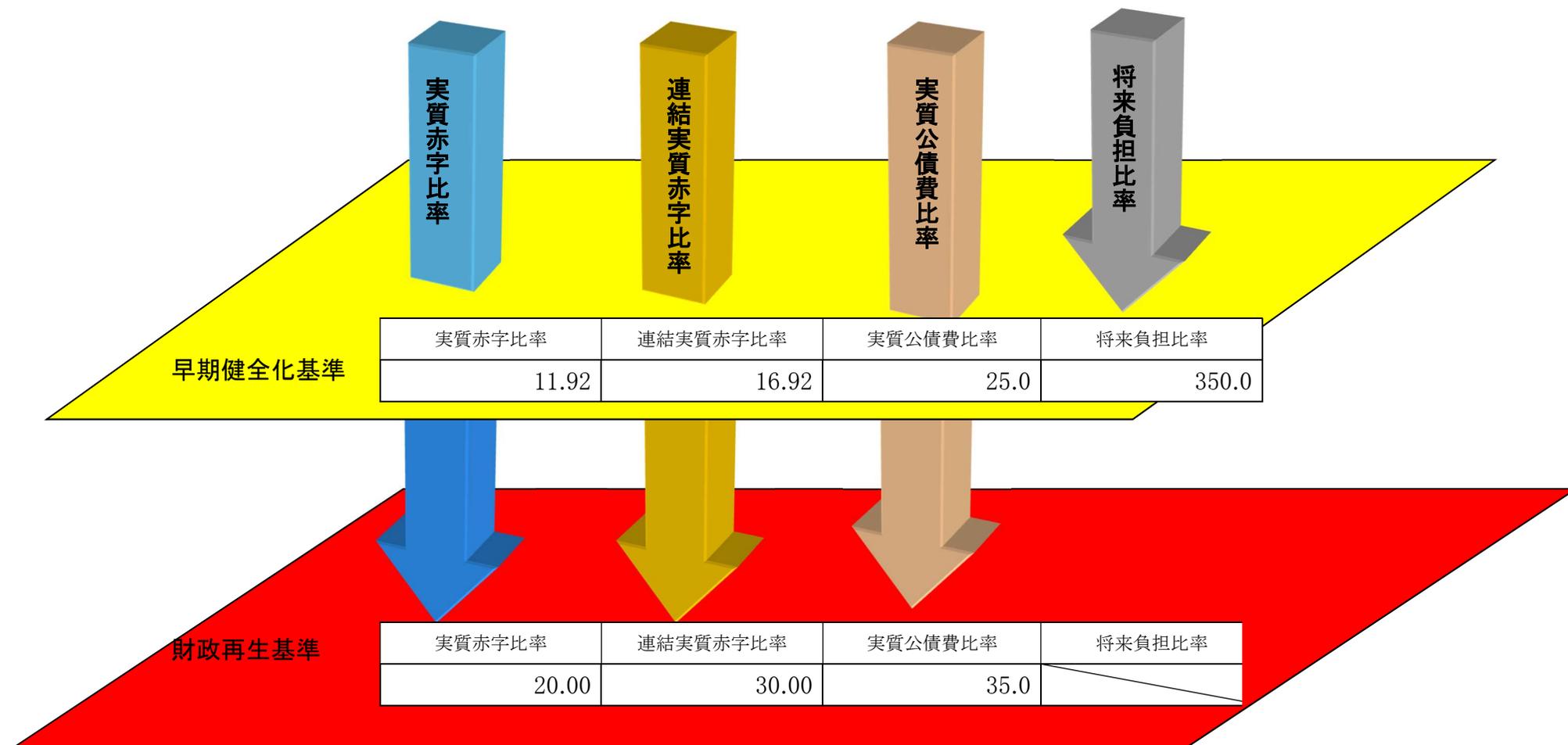
健全化判断指標・再生判断指標と対応する会計等の対比イメージ図

【対象団体・対象会計】



★今回の算定結果について

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
-	-	9.1	-



●実質赤字比率と連結実質赤字比率について

会 計 名		実質収支額 (千円)
一般会計等	一般会計	958,037
	小 計	958,037
	標準財政規模	27,745,091
	実質赤字比率 (%)	-3.45
一般会計等以外の会計のうち公営企業に係る特別会計	国民健康保険特別会計	48,663
	介護保険特別会計	236,617
	後期高齢者医療特別会計	28,591

会 計 名		資金不足・剰余額 (千円)
法適用企業 以外	宅造事業 水道事業会計	2,665,958
	宅造事業 下水道事業会計	937,223
法非適用企業 以外	宅造事業 有明荘特別会計	9
	宅造事業 産業団地造成事業特別会計	128
合 計		4,875,226
標準財政規模		27,745,091
連結実質赤字比率 (%)		-17.57

【実質公債費比率の算定結果】

1. 算定結果

- ①算定結果（令和元年度、令和2年度、令和3年度の3ヵ年平均）は、9.1%となり、早期健全化基準（25%）及び起債の許可制移行基準（18%）を下回りました。
- ②各単年度の比率は令和元年度9.8%、令和2年度9.0%、令和3年度8.6%となります。（小数点第2位の処理は、単年度が四捨五入、3ヵ年平均は切り捨て）

2. 令和2年度と令和3年度の単年度における主な算定数値の増減額

①分子となる算定数値

令和2年度に比べ令和3年度の元利償還金は8,691万1千円増額、準元利償還金は1億6,968万8千円減額となり、元利償還金との合計で8,277万7千円の減額となりました。また、元利償還金及び準元利償還金等、公債費負担となる合計から、特定財源及び交付税算入分を引いた後の実負担額については1,280万4千円増額となりました。

②分母となる算定数

令和2年度に比べ令和3年度の標準税収入額は12億3,819万4千円の減額、普通交付税は16億4,586万5千円の増額、臨時財政対策債発行可能額は5億816万8千円の減額で、結果、標準財政規模が9億1,583万9千円増額となりました。標準財政規模から元利償還金及び準元利償還金に対する交付税算入分を引いた後の金額は226億3,462万3千円となり、昨年度より10億1,181万円の増額となりました。

※上記①②の結果、分子となる算定数値が1,280万4千円増額となり、分母となる算定数値も9億1,583万9千円増額となりました。結果、令和3年度の単年度における実質公債費比率は前年度比0.4ポイント減の8.6%に改善されました。3ヵ年平均である実質公債費比率についても前年度比0.4ポイント減の9.1%と改善されました。

3. 現状と課題

元利償還金及び準元利償還金等、公債費負担の合計に対する交付税算入率は、72.1%となり、市税等で賄う額が約30%となっています。その要因としては次のとおりです。合併以降に借入れた地方債は、臨時財政対策債（交付税算入100%）と合併特例債（交付税算入70%）が全体の大部分を占めており、旧町村で借入れた地方債の償還が終了する一方、合併以降に借入れた地方債の元利償還金が増加し、合併特例債や臨時財政対策債の占める割合が増加したことが要因です。

以上のことから、交付税算入率は今後、一定水準を保つものと考えられます。しかし、交付税算入率の高い合併特例債の発行期間が限られていることから、将来的には地方債発行に対する交付税算入率の減少が予想されます。また、普通交付税の合併算定代替措置が令和2年度で終了し、令和3年度より一本算定となりました。このことから、分母となる標準財政規模も縮小していくと見込まれ、今後も借入額を平準化し、償還額の急増を避ける必要があります。

【将来負担比率の算定結果】

1. 算定結果

令和3年度の将来負担比率は、充当可能財源等が将来負担額を上回ったことから、比率が算定されませんでした。(令和2年度4.2%)

2. 令和2年度と令和3年度の主な算定数値の増減額

①分子となる算定数値

分子となる将来負担額は昨年度比で34億1,209万8千円減額となりました。項目ごとにみると、地方債新規発行額39億9,749万6千円(借換債を除く)に対し、地方債償還額(元金分)50億4,999万5千円であったことから、地方債の現在高は10億5,249万9千円減額となりました。公営企業債等繰入見込額は22億5,475万6千円減額となり、これは下水道事業の地方債残高が19億5,464万8千円減少したことが大きく起因しています。組合負担等見込額は新たな起債がなかったため2,846万7千円減額となっています。退職手当負担見込額は4,172万円減額となりました。これは、市長の任期満了により特別職の退職手当支給予定額が1,036万5千円減額したことと、早期退職等により一般職の勤続年数が短くなっていることによるものです。債務負担行為に基づく支出予定額の3,465万6千円減額をあわせて、将来負担額の総額は627億3,288万4千円となり、昨年度より、34億1,209万8千円減となりました。

充当可能財源等となる算定数値は、財政調整基金などの充当可能基金が32億7,229万2千円増額となっています。これは、令和6年度の公債費増に備え、減債基金を21億6,440万2千円積み立てたことによるものです。充当可能特定歳入は2,047万6千円減額、基準財政需要額算入見込額は26億6,833万3千円減額となりました。

以上を合わせ、充当可能財源等の総額は658億1,653万8千円となりました。昨年度より、5億8,348万3千円増となりました。

将来負担額(627億3,288万4千円)から充当可能財源等の総額(658億1,653万8千円)を引いた後の実質的な将来負担額は▲30億8,365万4千円(39億9,558万1千円減額)です。

②分母となる算定数値

基準財政規模が277億4,509万1千円(9億1,583万9千円増額)となり、算入公債費等の額と差し引いて226億3,462万3千円(10億1,181万円増額)となります。

3. 現状と課題

交付税算入見込みは、一般会計の地方債現在高に対し88%(令和2年度は90%)、公営企業及び一部事務組合の地方債現在高(一般会計負担分)に対し83%(令和2年度は78%)となり、結果、総計(一般会計、公営企業及び一部事務組合の地方債残高)に対し86%(令和2年度は86%)となります。

これら交付税算入率は、実質公債費の要因と同様に、今後も一定水準を保つものと考えられます。しかし、交付税算入率の高い合併特例債の発行期間に限りがあることから、将来的には地方債発行に対する交付税算入率の減少が予想されます。また、公営企業の準元利償還金に対する充当財源の多くを占める下水道事業繰出金(基準内繰出分)について、その平準化と抑制が将来負担を軽くする大きな要因となることから、一般会計からの計画的な繰出しが重要となります。

将来負担比率は現状を単純に計るのではなく、将来を見据えた財政運営の指針として捉える必要があります。

安曇野市平和都市宣言10周年記念事業
朗読と歌による
被爆ピアノ 平和祈念コンサート



旅するピカドンピアノ

作：まほろば遊 絵：炎陽炎 「平和のピアノ」作詞・作曲：まほろば遊



2022年9月25日（日）

公演15:00～17:00 開場14:30

安曇野市穂高交流学習センター「みらい」ホール

〒399-8303 安曇野市穂高6765-2

★入場無料★ 8月30日(火)より要申込み（裏面ご参照）

ゲスト：矢川 光則（被爆ピアノ管理所有者・調律師）

まほろば 遊（朗読・歌） 川添 由梨香（ピアノ）



映画
上映

9月26～28日市役所 1 Fロビーにて被爆ピアノ及びパネル展示。（28日は13時迄）
9月24日に映画「おかあさんの被爆ピアノ」上映会を開催！（裏面ご参照）

◆主催：安曇野市・市教育委員会 ◆問合せ：市教育部 文化課（TEL 0263-71-2463）

企画協力：MVSC（ミュージックボランティア・サポーターズクラブ）～市民協働参画事業～

被爆ピアノとは

1945年のヒロシマ、爆心地から3km以内で被爆したピアノ。
被爆当時のままであるが、演奏ができるよう修復されコンサートで使用されている。

本公演にこめた思い

平成24年12月に「安曇野市平和都市宣言」が制定され、本年で10周年を迎えます。この宣言は、次世代を担う子どもや若者から寄せられた意見をもとに、反戦・反核はもちろん、飢餓・貧困・いじめなど、身近なところにある不安や争いを無くし、平和な社会を築いていこうという思いや決意を謳ったものです。

安曇野市では、制定以来、宣言の精神に基づき、様々な平和推進事業を展開してきました。戦後77年目を迎える今日(こんにち)、国内では戦争体験者の高齢化とともに、戦争の悲惨さや平和の尊さを語り継ぐことが難しくなっています。また、世界では武力による衝突が絶えることがありません。このような中、一人ひとりが平和について考え、その大切さを再確認する機会となることを願い、広島を拠点に「被爆ピアノ」を用いて平和活動を展開する矢川光則氏、まほろば遊氏（朗読・歌）、川添由梨香氏（ピアノ）を迎え、コンサートや映画上映、被爆ピアノの展示などの記念事業を実施します。

安曇野市長 太田 寛

★申し込み方法★

穂高交流学習センター「みらい」へお電話もしくは直接受付にてお申込みください。

☎0263-81-3111（午前10時～午後5時）

休館日：毎週月曜日（祝日を除く） 祝日の翌日（土・日・祝日を除く）

◆映画 9/24（土）①13時～ ②16時～ ◆コンサート 9/25（日）15時～

【注意事項】

- ・受付開始は、**8月30日（火）**となります。 ※定員（120名）になり次第受付終了
- ・ひとりで申込みできる人数は2名までとなります。
- ・申込みの際、お名前・ご住所・連絡先をお教えてください。
- ・新型コロナ感染状況により、中止となる場合がありますことご了承ください。



矢川光則（ピアノ調律師）1952年広島市生まれ。72年ピアノ調律技術者養成所卒、河合楽器入社。93年ヤガワ楽器調律センター設立。96年環境保護の一環として、不用になったピアノを修理し施設に贈る活動をするなかで、「被爆ピアノ」に出会い、2005年から被爆ピアノ全国巡演コンサートをはじめ。2010年9月ニューヨークで被爆ピアノコンサート開催。2021年「被爆ピアノ資料館」を開館。平和活動展開中。



まほろば遊（朗読・歌）元宝塚歌劇団シンガーソングライターとしてライブ活動の他、音楽を通じた社会貢献にも積極的に参加。2018年より、広島で被爆した「被爆ピアノ」に歌と朗読本を作り、小中学校を中心に平和演奏を行っている。名古屋芸術大学・愛知県立名古屋西高校非常勤講師。MID-FMラジオパーソナリティ。



川添由梨香（ピアノ）愛知県瀬戸市出身。愛知県立芸術大学卒業後ドイツニュルンベルク音楽大学大学院を最優秀賞の成績で卒業。ドイツにてサロンコンサートに定期的に招かれる。帰国後、フランスリモージュにて瀬戸市姉妹都市コンサートに出演。これまでに愛知、横浜、軽井沢で演奏、サロンコンサートを主催し、好評を得る。また、名古屋フィルハーモニー交響楽団やフィルハーモニーカー・ウィーン・名古屋と共演。

【ご参加される皆様へのお願い】

- ・本人及び同居のご家族に発熱・咳などの症状がある場合は、参加をご遠慮ください。
- ・マスク（不織布が望ましい）の着用をお願いします。
- ・公演入場時、体温確認・手指の消毒をお願いします。



【被爆ピアノ及び平和パネル展示会】

日時：2022年9月26日（月）～28日（水）※最終日13時迄

場所：市役所 1F東ロビー（28日昼休み～二演奏会開催）

【映画「おかあさんの被爆ピアノ」上映会】

日時：2022年9月24日（土）①13時～ ②16時～

場所：穂高交流学習センター「みらい」ホール ★入場無料★

※詳細は「広報あづみの」8月号または市HPをご覧ください。



「安曇野市×あずさマルシェ」を開催します



「安曇野市×あずさマルシェ」概要

- ・採れたての安曇野市の農産物を特急あずさ号でJR新宿駅に運び、首都圏の皆様へ販売することで安曇野市の農産物をPRします。
- ・29日(木)は、私が参加し、安曇野市の農産物をPRします。



販売概要

- ①日 程 2022年9月28日(水)～30日(金) 3日間
- ②輸送列車 あずさ22号 (松本駅発 11:10 ⇒ 新宿駅着 13:42)
- ③販売場所 JR新宿駅構内催事場(東南改札内)
- ④販売時間 28日 15:00～20:00 29日 10:00～20:00 30日 10:00～19:00
※商材がなくなり次第終了となります。
- ⑤商 材 りんご・ぶどう・新米・野菜等

「あづみのの食卓」安曇野フルコース(和食)

事業目的

＜安曇野市の農畜水産物の魅力情報発信・消費拡大＞

恵まれた気候風土で育った「Made in安曇野」の農畜水産物を使用し、地域の伝統的な食文化も反映した安曇野市ならではの「オール安曇野産」の和食メニューを考案し、安曇野市の豊かな自然と地場産物の魅力を内外に発信します。

概要

- ①メニュー考案者 横山タカ子さん(長野県「おいしい信州フード」公使)
- ②お披露目会
 - ・日時 10月2日(日)正午から
 - ・場所 古民家やど「初太郎」(明科七貴8411)
 - ・参加者 生産農家など
- ③メニューPR 調理盛付動画の制作、パンフレットの作成、銀座NAGANO「信州の長寿ご飯」披露(令和4年11月30日開催)
- ④主な使用食材 わさび、放牧豚、夏秋イチゴ、玉ねぎ、穂高インゲンなど



横山タカ子さん
(郷土料理研究家)

移住&農産物 安曇野を知る2日間

令和4年

10月7日(金)

8日(土)

あづみのDays in 銀座NAGANO

会場
銀座NAGANO

しあわせ信州シェアスペース

〒104-0061 東京都中央区銀座5丁目6-5

NOCOビル 1F・2F・5F

「安曇野へ移住」 セミナー&個別相談会

移住セミナーと個別相談会がセット。安曇野のアウトドアや自然保育などの子育て環境、空家の現状等をお伝えします📣

【場所】

5階 移住交流・就職相談コーナー

【定員】

7日、8日 両日とも 10組

(1組2名まで事前予約制)

※申込方法等詳細は安曇野暮らし支援協議会HPをご覧ください。

「令和4年度 長野県地域発元気づくり支援金活用事業」

詳細はこちら



「安曇野を知る」 繊維のダイヤモンド天蚕系

淡緑色で独特の光沢と優美な風合いを持つ、たいへん希少性なシルク「天蚕」意外と知られていない天蚕の魅力をお届けします!

□天蚕系ワークショップ

【場所】

2階 イベントスペースコーナー

【参加費】

1,000円(税込)

【定員】

7日 20人(事前予約制)

※申込方法は、安曇野市観光協会Instagramをご覧ください。

詳細はこちら



「安曇野を食す」

食事会&移住生産者に根掘り葉掘り聞けちゃうDAY

料理人の三上奈緒さんが安曇野市の食材を使った料理を振る舞う食事会、移住生産者から直接お話を聞ける交流会を行います!

【場所】

2階 イベントスペースコーナー

【参加費】

3,000円(税込)【お土産付】

【定員】

8日 20人(事前予約制)

※申込方法等詳細は下記QRコードからご確認ください。

※当日は1階催事コーナーで安曇野市の農産物等の販売も行います!

【共催】(株)雨風太陽

詳細はこちら



料理人 三上奈緒さん

【主催】長野県安曇野市

【問い合わせ】安曇野市役所0263-71-2000(代表)

移住定住推進課・観光課・農政課



「食・生産者」を起点としたイベントを開催します



イベント概要

- ・都市部の生活者(参加者)と安曇野市の生産者および市職員が交流することで安曇野市の農産物の魅力をPRします。
- ・料理人の三上奈緒さんが生産者の食材を調理し、参加者に振る舞う食事会を行います。
- ・1階催事コーナーでは安曇野市の農産物の直接販売を行います。



イベント詳細

- ①日 程 2022年10月8日(土) 13:00~15:30
- ②会 場 銀座NAGANO 2階イベントスペース
※農産物の販売は1階催事コーナーで行います。
- ③参加者 20名 都市部で生活されている安曇野市に関心のある方(事前予約)
- ④共 催 (株)雨風太陽

「上高地あずさ珈琲」とタイアップした関西方面観光キャンペーン



内容

- ・関西地域で展開するカフェレストラン「上高地あずさ珈琲」とのタイアップ事業。
- ・9月14日新規開店の阪急3番街店来店者や、メルマガ読者14万人を対象に宿泊券等が当たるキャンペーンと秋冬の安曇野の観光PR。
- ・関西地域の安曇野の認知度向上と誘客を図る。



信州ブレイブウォリアーズ プレシーズン安曇野ゲーム開催



Iwatani
イワタニ長野株式会社

PRESENTS

2022-23 SEASON
PRE-SEASON GAME

9.10 SAT TIP-OFF **15:05**

 VS. 

安曇野ゲーム
6年ぶり2回目の開催!

会場 **ANCアリーナ(安曇野市総合体育館)**





信州ブレイブウォリアーズ プレシーズン安曇野ゲーム開催

開催日 2022年9月10日(土) OPEN 13:00 / TIP OFF 15:05

会場 ANCアリーナ(安曇野市総合体育館)

対戦 横浜エクセレンス(B3)

留意事項

- ①1階席は土足厳禁になります。ロビーで上履きに履き替えをお願いします。
- ②混雑を避けるため、事前に駐車場の駐車券を発券します。
- ③信州ブレイブウォリアーズのホームページで詳細をご確認ください。

お問い合わせ

株式会社 信州スポーツスピリット 担当:チケット担当

電話:026-214-7022(平日9:00~17:30まで) メール:tix@b-warriors.net

チケット情報

■販売スケジュール

8月11日(木) 12:30 ~ 9月10日(土) 15:05

■購入窓口

インターネット販売 ⇒ 会員登録が必要です。

店頭販売 ⇒ 信州ブレイブウォリアーズクラブオフィス

当日窓口 ⇒ 試合会場入り口に当日券窓口を設置

■価格

右側の一覧表参照

席種		前売価格(税込)	当日価格(税込)
WARRIORSシート	1列目	¥14,000	¥14,500
WARRIORSシート	2列目	¥13,000	¥13,500
BRAVEシート	1列目	¥14,000	¥14,500
BRAVEシート	2列目	¥13,000	¥13,500
SHINSHUシート	1列目	¥9,000	¥9,500
SHINSHUシート	2列目	¥8,000	¥8,500
NAGANOシート	1列目	¥9,000	¥9,500
NAGANOシート	2列目	¥8,000	¥8,500
SHINANOシート	1列目	¥9,000	¥9,500
SHINANOシート	2列目	¥8,000	¥8,500
コートサイド	1列目	¥10,000	¥10,500
コートサイド	2列目	¥7,500	¥8,000
コートサイド	3列目	¥6,500	¥7,000
コートエンド	1列目	¥10,000	¥10,500
コートエンド	2列目	¥7,000	¥7,500
コートエンド	3列目	¥6,000	¥6,500
1階ベンチFRONT		¥5,000	¥5,500
1階ベンチBACK		¥4,500	¥5,000
1階車椅子シート		¥4,500	¥5,000
2階自由席	大人	¥2,000	¥2,500
	小中高	¥900	¥1,400
2階車椅子シート	共通	¥2,000	¥2,500

駐車場情報

■申し込みスケジュール

8月11日(木) 12:30 ~ 9月10日(土) 15:05

■申し込み窓口

インターネット申込 ⇒ 会員登録が必要です。

店頭申込 ⇒ 信州ブレイブウォリアーズクラブオフィス

■駐車場一覧

	駐車場名	住所	台数	距離	備考
①	ANCアリーナ敷地内	安曇野市豊科高家4500-1	135	-	隣接の南部公園駐車場はご利用できません
②	SUPER SLOT CAMELOT(休業中)	安曇野市豊科640-2	170	0,75km / 徒歩10分	
③	長野県立こども病院	安曇野市豊科3100	95	1,3km / 徒歩17分	
④	県民豊科運動広場駐車場	安曇野市豊科南穂高4985	270	6,7km / シャトルバス15分	シャトルバス運行



サッカー松本山雅F.CのホームタウンPRデーについて

開催日 2022年9月18日(日) 14:00キックオフ

会場 サンプロアルウィン(松本市神林5300)

対戦相手 ガイナーレ鳥取

内容 11:00~14:00にガンズくんひろばで安曇野市PRブースを設置
①玉入れゲームの参加者に、チームカラーの緑色であり、安曇野市の特産でもあるわさびのお菓子を先着300名に配布
②安曇野の農産物を応援する妖精「みずん」と記念撮影

お問い合わせ

株式会社 松本山雅
電話:0263-88-5490 (平日9:00~18:00まで)



「©2011 YAMAGA」



イオン豊科店設置 デジタルサイネージ「わが街 NAVI」の概要

1. 趣旨

イオン豊科店に大型電子パネル（デジタルサイネージ）を設置し、行政情報や施設からのお知らせを掲載します。広告収入によるゼロ予算事業であり、(株)サイネックス（本社：大阪市）と市が協働で運用するものです。

2. デジタルサイネージの概要

(1) 設置場所

イオン豊科店 1階 フードコート入口付近

(2) 運用期間

令和4年9月6日（火）から3年間

(3) 仕様

- ・サイズ：2330×650×1775 mm
- ・インフォパネル（静止画）
最大20件、最大10分間
- ・情報パネル（動画）
最大300秒
- ・広告パネル



3. 掲載情報

市が専用WEBサイトから原稿をアップロードして更新。

- (1) 情報パネル（中央）：MTB コース、消防団募集、新体育館紹介などの動画を予定
- (2) インフォパネル（左）：各種相談窓口の案内、イベント告知などの静止画を予定

4. 広告

(株)サイネックスが市内の該当企業を中心に募集。

5. 取材に関するお願い

取材いただける場合は、秘書広報課までご連絡ください。イオン豊科店と取材日程（撮影）を調整させていただきます。

安曇野市役所 政策部 秘書広報課
 課長：洞 武志 係長：所 太久馬
 電話 71-2400（直通） fax71-5000
 E-mail:hishokoho@city.azumino.nagano.jp